

目 次

目 次	1
I 2024（令和6）年度の主な活動	3
*2024（令和6）年度入館者一覧	4
II 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) 特別撮影・利用・特別観覧	6
3) 修 復	6
III 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 総合展示	9
3) ぶんぱく講座	23
III-2 特別展示	24
*2024（令和6）年度特別展一覧	32
III-3 映 画	33
1) 常設上映	33
2) 特別企画・共催事業	34
3) 映像ギャラリー常設展示	37
III-4 京都学・歴彩館における展示	38
IV 調査研究活動	40
IV-1 学芸員の活動	40
1) 研 究	40
2) 出講・委嘱	40
3) 業 績	41
V 普及活動	43
V-1 出版物	43
1) 研究紀要『朱雀』	43
2) 年報	43
3) 展覧会図録	43
V-2 音楽会	44
V-3 アートフリーマーケット	44
V-4 学習普及外部連携室	44
1) ボランティア	44
2) 生き方探究チャレンジ体験	45
3) 団体見学案内	45
V-5 博物館実習	46
V-6 資料・情報公開	46
1) 資料閲覧室	46
2) 広報	46

V-7	外部連携活動	47
1)	他館との連携	47
2)	京都府内の学校との連携事業	47
3)	地域との連携	47
V-8	京都文化博物館友の会	49
1)	会 員	49
2)	事業概要	49
V-9	文化財保護基金室	50
1)	貸付け事業	50
2)	文化財保護に関するよろず相談	50
3)	文化財保護の啓発普及	50
V-10	「福寿園・お茶の文化賞」	51
VI	ギャラリー事業	52
VI-1	5・6階展示室	52
1)	美術・工芸作家の利用	52
2)	京都文化財団展示室運営委員会	53
3)	生涯学習的発表期間の利用	53
4)	一般の利用	55
VI-2	別館ホール	55
VII	管理・運営	58
VII-1	組織と職員	58
1)	組 織	58
2)	京都文化財団	58
3)	京都文化博物館	59
VII-2	施 設	60
1)	本館関係	60
2)	別館関係	60
VII-3	館内店舗	63
1)	ろうじ店舗一覧	63
2)	別館店舗一覧	63
3)	博和会・ろうじ店舗行事	63
VIII	2024（令和6）年度のあゆみ	64

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2024(令和6)年度の 主な活動

I 概要

2024年度の京都文化博物館は、多彩な展示活動を通じて京都の文化拠点としての役割の一翼を担った。

「松尾大社展」では、京都の古社・松尾大社にまつわる信仰と美術を紹介し、神社の宝物や祭礼に関する資料を展示して京都の宗教文化への理解を深めた。「日本の巨大ロボット群像」展では、アニメや特撮に登場する巨大ロボットをテーマに、模型や原画、映像資料を通して日本のポップカルチャー進化の過程をたどった。同展は会期中に第55回星雲賞の自由部門賞受賞が決定した。秋に開催した「生誕140年記念 石崎光瑠」展は、日本画家・石崎光瑠の初の大規模回顧展として、作品を通じて近代日本画の美と技を再評価する展覧会となった。そして「世界遺産 大シルクロード展」では、東西文化の交流の歴史を44点の一级文物をはじめ日本初公開を含む200点もの資料によって紹介し、日中平和友好条約締結45周年記念にふさわしい盛大な展示となった。続く「カナレットとヴェネツィアの輝き」展では、18世紀ヴェネツィアの風景画家カナレットの作品を中心にヨーロッパ美術の魅力を紹介するなど、国際的な展覧会が続いた。

「Kyoto Art for Tomorrow2025—京都府新鋭選抜展」では、京都を中心に活動する新進の若手作家の中から、選考委員により選抜された作家40名の作品を展示し、また前年度選抜展の最優秀賞受賞者の高瀬菜菜氏をゲスト作家として招き、別館ホールにて特別展示をおこなった。

2階展示室においては、漢学者・三國幽眠の漢詩や書、交流した絵師の作品を紹介した「三國幽眠—勤王漢学者と京都」展や、亀岡を拠点に活動した福井勇の画業をたどった「福井勇—あいまいな輪郭」展、当館の近隣に営まれた室町将軍の御所の歴史を探る「足利将軍、京都に住まう。」展、鶴澤探山を祖とする鶴澤派の活躍を紹介した「鶴澤派探求—朝廷御用絵師の要—」展など、京都の文化的な魅力を発信する12の展覧会を開催した。また2月15日から3月19日にかけて〈京の歴史〉ゾーンの展示内容のリニューアルを実施し、「鴨川納涼図屏風」の高精細撮影画像を用いた「動く屏風」の展示や、羅城門模型を活用したプロジェクションマッピングなど、より魅力ある展示への改装をおこなった。

3階のフィルムシアターでは、「映画に見る平安時代」や「生誕100年 高峰秀子 銀幕に生きる」など、収蔵作品の企画上映を実施したほか、第30回となる京都国際子ども映画祭や、国立映画アーカイブほかと共催した「メキシコ映画の大回顧」など、外部団体と連携した企画も多数おこなった。また、次世代育成ワークショップとして東映京都撮影所、松竹撮影所と協力して時代劇映画を制作する第17回京都フィルムメーカーズラボを開催し、35カ国から38人が参加した。

そのほか教育普及活動にも注力し地元の学校との連携による学習プログラムや、地域住民を対象とした文化講座などを定期的に開催し、京都の文化を次世代へ継承する取り組みを進めた。また、「ナイトミュージアム KANSAI」に参加し、水曜・金曜は20時30分まで延長開館し夜間開館に積極的に取り組むとともに、その中で学芸員による解説や専門家の座談会やワークショップなどを開催して夜間鑑賞者向けに特別解説シートを配布するなど、鑑賞体験の質を高める工夫もおこなった。

別館では、春には近年恒例となった国際的な写真祭「KYOTOGRAPHIE 2024」の主要会場として、クラウディア・アンドゥハルによるヤノマミ族とのコラボレーション展が注目を集めたほか、10月12日から14日にかけて京都アート・クラフトマーケットを開催し、84のブースを設け、2000人を超える来館者でにぎわいを見せた。5階6階のギャラリーでは、例年の京都日本画家協会展や京都美術文化賞受賞記念展や創工会展などのほか、11月には「卒寿記念杭迫柏樹展」が開かれ、3月には伊砂利彦生誕100年記念の展覧会が開催されるなど、話題の多い一年であった。

なお、今期は9月3日から11月13日にかけて館内3基の昇降装置の大規模改修をおこなったが、展覧会活動への影響は最小限に留めて工事を完遂した。

2024(令和6)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2024.4	2,863	1,702	4,565	5,750	1,930	7,680	8,613	3,632	12,245	4,319	2,083	9,870	16,272	6,698	35,215
5	2,448	1,902	4,350	4,364	1,846	6,210	6,812	3,748	10,560	649	1,996	13,653	16,298	6,396	33,254
6	3,323	2,562	5,885	4,283	2,298	6,581	7,606	4,860	12,466	1,439	6,045	8,811	16,295	6,618	35,379
7	3,912	1,538	5,450	12,549	2,515	15,064	16,461	4,053	20,514	4,891	1,462	7,340	13,693	7,120	41,327
8	2,956	2,275	5,231	16,145	3,467	19,612	19,101	5,742	24,843	1,935	4,432	4,260	10,627	6,883	42,353
9	3,924	2,477	6,401	5,376	2,165	7,541	9,300	4,642	13,942	0	408	5,675	6,083	5,745	25,770
10	4,772	2,733	7,505	10,007	4,826	14,833	14,779	7,559	22,338	0	0	28,182	28,182	7,920	58,440
11	3,250	3,554	6,804	7,902	4,966	12,868	11,152	8,520	19,672	6,873	2,796	10,383	20,052	8,218	47,942
12	1,248	2,684	3,932	16,077	12,802	28,879	17,325	15,486	32,811	0	3,533	6,230	9,763	8,168	50,742
2025.1	1,574	1,669	3,243	39,514	34,251	73,765	41,088	35,920	77,008	3,448	2,547	3,600	9,595	11,014	97,617
2	1,801	2,515	4,316	9,934	4,263	14,197	11,735	6,778	18,513	1,516	6,259	8,430	16,205	6,952	41,670
3	1,329	1,441	2,770	10,739	3,911	14,650	12,068	5,352	17,420	3,695	5,218	13,513	22,426	8,339	48,185
年度計	33,400	27,052	60,452	142,640	79,240	221,880	176,040	106,292	282,332	28,765	36,779	119,947	185,491	90,071	557,894
1日平均 (総279日) (特272日)	120	97	217	511	284	795	631	381	1,012						

Ⅱ 資料の収集・利用

Ⅱ 概要

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立京都学・歴史館（旧京都府立総合資料館）所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を京都学・歴史館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館および京都学・歴史館で行うとともに、収集、利用等の業務を当館で行っている。

なお、2024年度末での管理資料は55,508点、寄託資料が397点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分野	資料名	点数	寄贈者	分野	資料名	点数	寄贈者
日本画	鈴木百年先生門下合作	1	猪飼一之	歴史	百人一首 模本	1	奥田真人
日本画	松竹梅図	1	猪飼一之	歴史	八木家古文書	1	八木清貴
日本画	富貴草喜雀	1	猪飼一之	その他	八木家写真集	1	八木清貴
日本画	上臈観桜図	1	猪飼一之	その他	昭和天皇式典	1	八木清貴
日本画	寧楽朝少図	1	猪飼一之	その他	大隈重信	1	八木清貴
日本画	紅梅之図	1	猪飼一之	その他	大隈綾子	1	八木清貴
日本画	宗論之図	1	猪飼一之	その他	大隈重信と妻綾子	1	八木清貴
日本画	臨時祭舞人図	1	猪飼一之	その他	朝香宮鳩彦王	1	八木清貴
日本画	鳴戸海峡	1	猪飼一之	その他	朝香宮鳩彦王の妻允子	1	八木清貴
日本画	松韻	1	猪飼一之	日本画	白菊	1	石崎次子
日本画	八坂晴雲	1	猪飼一之	日本画	深秋	1	石崎次子
日本画	寒江	1	猪飼一之	日本画	朝陽	1	石崎次子
日本画	採芝	1	猪飼一之	漆芸	夜の演奏者	1	服部重樹
日本画	高土観瀑	1	猪飼一之	漆芸	おんな	1	服部重樹
日本画	桃花春風	1	猪飼一之	漆芸	月六面体 その一	1	服部重樹
日本画	高原吼之図	1	猪飼一之	漆芸	耀貝飾箱 陽光の翼	1	服部重樹
日本画	長春白孔雀図	1	猪飼一之	漆芸	繋がりゆく光の中	1	服部重樹
漆芸	柏葉置物	1	伊藤邦子	書	六言絶句「黄卷一生事業」	1	星加悠子
民俗	講札（八坂瓊講）	1	橘かよ子	書	箴言「天下未有不由集而」	1	星加悠子
民俗	講札（鎮火講社）	1	橘かよ子	書	詩二首	1	星加悠子
民俗	講札（伊勢月参）	1	橘かよ子	書	書「寿考維祺以介景福」	1	星加悠子
民俗	講札（酒見講）	1	橘かよ子	日本画	三國幽眠歌碑図	1	星加悠子
民俗	講札（大篠栄講）	1	橘かよ子	日本画	辛未土明会之図	1	星加悠子
民俗	付属資料	1	橘かよ子	その他	三國幽眠像（鶏卵紙）	1	星加悠子
日本画	彩秋	1	渡辺信喜	その他	三國静枝像（鶏卵紙）	1	星加悠子
日本画	洛中洛外図屏風	1	堀井初枝	その他	三國小枝像（鶏卵紙）	1	星加悠子
日本画	源氏物語図屏風	1	堀井初枝	その他	三國直継像（ガラス乾板）	1	星加悠子
日本画	群鶴図屏風	1	堀井初枝	その他	三國直継像（紙焼）	1	星加悠子
歴史	百人一首	1	奥田真人	その他	亀香合 山本復一（銘）	1	星加悠子
						小計58点	

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館資料	歴史資料	95件1384点	美術工芸	228件234点	考古	19件510点					342件2128点
管理資料	日本画	9件 30点	陶 器	1件 89点	民 俗	9件 271点	武 具	2件 5点	染 織	3件 3点	24件398点

II - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的（展覧会名）
考古	複弁蓮華文軒丸瓦 ほか	2	向日市教育委員会	常設展
考古	平安京左京三条三坊十一町出土 備前焼大甕	2	備前市埋蔵文化財管理センター	常設展
考古	旧日本銀行京都支店金庫棟外壁れんが ほか	2	舞鶴市立赤れんが博物館	常設展

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的（展覧会名）
日本画	野々内良樹「緑映」	1	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため
日本画	「天籟画帖」	1	彦根城博物館	展覧会「青根九江ー京で花開いた彦根の文人画家」に出品のため
日本画	池内璋美「美山」ほか計6点	6	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	奥村厚一「茶具海岸」	1	京都市京セラ美術館	展覧会「没後50年 生誕120年 奥村厚一 光の風景画家」に出品のため
日本画	松崎良太「秋陽撫山の里」ほか計5点	5	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
洋画	上田祐司「秋の妙法」	1	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	「七十一番職人尽歌合絵巻」ほか計2点	2	北九州市立自然史・歴史博物館	展覧会「お菓子のむかしばなし展」に展示するため
日本画	三島上龍「納涼美人図」	1	高知県立美術館	展覧会「誕生200年 河田小龍」に展示するため
日本画	入江西一郎「都をどり」ほか計2点	2	笠岡市立竹喬美術館	展覧会「日本画家 入江西一郎のどうぶつ画」に展示するため
日本画	原在明「新嘗」	1	奈良県立美術館	展覧会「大和の美」に展示するため
日本画	由里本出「丹後松島冬韻」（こころの京都）ほか計6点	6	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
染織	「羽衣」能装束（復元）	1	京都府文化生活部文化芸術課	京都府民ホールALTIリニューアルオープン記念公演において使用するため
日本画	曲木光男「紅梅」	1	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため
日本画	鈴木松年「八岐大蛇退治図」ほか計3点	3	松柏美術館	展覧会「上村三代の恩師たち」に展示するため
日本画	松本祐子「千年の春」（こころの京都）ほか計6点	6	京都府文化生活部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	清水信行「古都清信」（こころの京都）	1	清水信行（会場：アートスペース余花庵）	個展「京都の日本画家 清水信行展」に出品のため

合計15件39点

2) 特別撮影・利用・特別観覧

【館蔵資料・管理資料】

館蔵資料：撮影・利用45件79点 特別観覧7件7点／管理資料：撮影・利用13件17点 特別観覧3件8点

寄託資料一時持ち出し・貸与

	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館蔵資料	日本画	上村松園「夕暮」	1	松柏美術館	展覧会
館蔵資料	歴史	「紫式部集」ほか	2	公益財団法人古代学協会	展覧会
館蔵資料	日本画	上村松園「夕暮」	1	大阪中之島美術館	展覧会
管理資料	民俗	緋羅紗地波濤飛魚文様刺繍水引窓絵唐草文様綴錦（右後）	1	公益財団法人四条町大船鉾保存会	新調事業
管理資料	民俗	神功皇后御天冠 ほか	30	公益財団法人船鉾保存会	祭礼
管理資料	民俗	祇園祭鯉山毛綴見送 ほか	8	公益財団法人鯉山保存会	祭礼
管理資料	民俗	緋威小札大鑑 ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼

3) 修 復

番号	資料名	数量	処置内容	施工業者
1	紙本墨書 判金分銅等後藤光次書翰	一卷	裏打紙を取り換え、へだて紙、足し紙を新調して付け回した後、総裏打を行った。また見返し紙、巻末紙、軸首、紐、桐太軸巻等を新調した。	藤岡光影堂
2	祇園井持「島原太夫図」	一幅	きつい横折れ皺を緩和するため、太軸巻をつけ、それに合わせた箱を作成した。また軸紐が脆弱化しているので、新調した。	
3	菊池容斎「雨中太夫道中図」	一幅	きつい横折れ皺を緩和するため、太軸巻をつけ、それに合わせた箱を作成した。また軸紐が脆弱化しているので、新調した。	
4	祇園祭月鉾 音頭取り人形	一体	人形の顔の損傷を補修し、髪の毛の乱れを結び直した。	福田人形店

Ⅲ 展示活動

Ⅲ 概要

当館の「総合展示」は、2011年に行われたリニューアルによって「常設展示」に替わって設けられた。京都の歴史の変遷をわかりやすく展示する〈京の歴史〉ゾーンと、その内容と関連し、補完する企画展示を行う〈京の文化と至宝〉ゾーンという2つの要素で構成されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料（国宝や重要文化財）も含み、小規模ながらも充実した展示構成を目指している。

Ⅲ-1 総合展示

1) 〈京の歴史〉ゾーン

2025年3月に14年ぶりに〈京の歴史〉ゾーン展示のリニューアル作業を行った。第2期展示（2011～2025）の内容を踏襲しつつも、新たな視点で平安時代から明治時代以降に及ぶ京都通史、すなわち平安京成立以来の都市・京都とそこに生きる人々の生活史、文化史に光をあてて展示を構成している。特に縄文土器や弥生時代の金属器を展示しつつ平安京以前の歴史展示に取り組んだこと、また羅城門復元模型や町の匠など第1期展示（1988～2011）で製作された模型を復活させ新たな展示として再利用したことなどが特徴としてあ

げられる。また羅城門復元模型には株式会社DARUMAと協働して製作したプロジェクトマップングを施し、江戸時代のコーナーでは「鴨川納涼図屏風」（京都府蔵、京都文化博物館管理）を素材にTOPPAN株式会社と共同研究を行い制作したフルCGアニメを上映している。

展示に利用した資料のほぼ全ては、京都府の所蔵品で占められており、〈京の歴史〉ゾーンにおいては撮影自由としたことは過去の展示と比較し大きく方針を変更したものである。

【〈京の歴史〉ゾーン 展示資料】

番号	章タイトル	資料タイトル	作者等	員数	時代	所蔵
1	Discover the history!	ナイフ形石器	朱雀第六小学校出土	1点	旧石器時代	〈※〉
2	Discover the history!	加工跡のある剥片	西院三蔵町出土	1点	旧石器時代	〈※〉
3	Discover the history!	石棒	菱屋町出土	1点	縄文時代	〈※〉
4	Discover the history!	土偶	菱屋町出土	1点	縄文時代	〈※〉
5	Discover the history!	縄文土器	菱屋町出土	2点	縄文時代	〈※〉
6	Discover the history!	石鏃	菱屋町出土	5点	縄文時代	〈※〉
7	Discover the history!	石斧	長刀鋒町出土	3点	弥生時代	〈※〉
8	Discover the history!	石庖丁	長刀鋒町出土	2点	弥生時代	〈※〉
9	Discover the history!	石鏃	長刀鋒町出土	6点	弥生時代	〈※〉
10	Discover the history!	石剣	長刀鋒町出土	1点	弥生時代	〈※〉
11	Discover the history!	弥生土器	長刀鋒町出土	3点	弥生時代	〈※〉
12	Discover the history!	銅鐸	梅ヶ畑出土	2点	弥生時代	〈※〉
13	平安宮の建築	地覆石	推定民部省南門	1点	平安時代	〈※〉
14	平安宮の建築	敷瓦	西賀茂瓦窯跡出土	3点	平安時代	〈※〉
15	平安宮の建築	緑釉軒瓦	朝堂院・豊楽院跡出土	5点	平安時代	〈※〉
16	平安宮の建築	鬼瓦	朝堂院・豊楽院跡出土	2点	平安時代	〈※〉
17	平安の文化世界	「池亭記」（複製）	慶滋保胤	1巻	平安時代 10世紀成立	〈※〉
18	平安の文化世界	白色土器	内裏蘭林坊出土	5点	平安時代	〈※〉
19	平安の文化世界	緑釉陶器	内裏蘭林坊出土	5点	平安時代	〈※〉
20	平安の文化世界	灰釉陶器	内裏蘭林坊出土	1点	平安時代	〈※〉
21	平安の文化世界	緑釉陶器	平安京左京八条三坊出土	11点	平安時代	〈※〉
22	中世 貨幣経済の発展	一括出土銭		1式	鎌倉～南北朝時代 14世紀	〈※〉
23	中世 貨幣経済の発展	模造銭		6枚	鎌倉～南北朝時代 14世紀	〈※〉
24	中世 貨幣経済の発展	室町幕府撰銭令（複製）		1通	永正9年（1512）	京都文化博物館 原本：京都府立京都市・歴史館
25	中世 貨幣経済の発展	室町幕府奉行人連署奉書（複製）		1通	永正10年（1513）	京都文化博物館 原本：京都府立京都市・歴史館

26	近世	花ひらく町衆文化	菊花桐文散柄鏡		1点	江戸時代 17世紀	<※※>
27	近世	花ひらく町衆文化	桔梗花文柄鏡		1点	江戸時代 17世紀	<※※>
28	近世	花ひらく町衆文化	梅樹柄鏡		1点	江戸時代 17世紀	<※※>
29	近世	花ひらく町衆文化	梅樹柄鏡		1点	江戸時代 17世紀	<※※>
30	近世	花ひらく町衆文化	花文枝垂桜千鳥柄鏡		1点	江戸時代 18世紀	<※※>
31	近世	花ひらく町衆文化	扇面柄鏡		1点	江戸時代 18世紀	<※※>
32	近世	花ひらく町衆文化	桐文散柄鏡		1点	江戸時代 18世紀	<※※>
33	近世	花ひらく町衆文化	蓬萊柄鏡		1点	江戸時代 18世紀	<※※>
34	近世	花ひらく町衆文化	阪東屋町遺跡出土 鏡の鋳型		3点	江戸時代 17世紀	<※※>
35	近世	花ひらく町衆文化	阪東屋町遺跡出土 砥石		1点	江戸時代 17世紀	<※※>
36	近世	花ひらく町衆文化	阪東屋町遺跡出土 茶道具類		1式	江戸時代 17世紀	<※※>
37	近世	花ひらく町衆文化	御条目 (町中の儀二付)	佐渡守 御在判	1冊	明暦元年 (1655) 11月26日	<※※>
38	近世	花ひらく町衆文化	宗門人別改帳	三条通室町東江入御倉町年寄 勘三郎 (印) ほか4名	1冊	延享元年 (1744)	<※※>
39	近世	花ひらく町衆文化	当町年寄役二付町儀控	西村惣左衛門	1冊	宝暦9年 (1759)	<※※>
40	近世	花ひらく町衆文化	禁中年中行事	源久 写	1冊	享保12年 (1727) 原本 正徳6年 (1716)	<※※>
41	近代	京都舎密局と明石博高	京都舎密局門標		1点	明治3年 (1870)	<※※>
42	近代	京都舎密局と明石博高	明石博高肖像画		1点	明治時代 19世紀	<※※>
43	近代	京都舎密局と明石博高	書額「萬物化成」	横村正直	1点	明治時代 19世紀	<※※>
44	近代	京都舎密局と明石博高	鳳凰文七宝パネル	京都舎密局	1点	明治12年 (1879)	<※※>
45	近代	京都舎密局と明石博高	顕微鏡		1セット	19世紀	<※※>
46	近代	京都舎密局と明石博高	ルーペ		1点	19世紀	<※※>
47	近代	京都舎密局と明石博高	懐中時計		5セット	19世紀	<※※>
48	近代	京都舎密局と明石博高	矢立		1点	19世紀	<※※>
49	近代	京都舎密局と明石博高	天鷲絨 (ピロード) 友禅		1点	明治時代 19世紀	<※※>
50	近代京都の文化		色絵笙形掛花生		1点	江戸時代 18世紀	<※※>
51	近代京都の文化		芦に千鳥文手塩皿		5点	江戸時代 19世紀	<※※>
52	近代京都の文化		錆絵染付瓢形水次	岩倉山	1点	江戸時代 19世紀	<※※>
53	近代京都の文化		粟田の器		4点	江戸時代末～明治時代	<※※>
54	近代京都の文化		染付草花模様スープ鉢	幹山伝七	1点	明治12年 (1879)	<※※>
55	近代京都の文化		染付草花模様スープ皿	三代清水六兵衛	1点	明治12年 (1879)	<※※>
56	近代京都の文化		染付草花模様肉皿	幹山伝七	1点	明治12年 (1879)	<※※>
57	近代京都の文化		染付草花模様ソース鉢	和気亀亭	1点	明治12年 (1879)	<※※>
58	近代京都の文化		染付ブドー酒呑	四代和気亀亭	1点	明治12年 (1879)	<※※>
59	近代京都の文化		染付草花模様台付盛皿	幹山伝七	1点	明治12年 (1879)	<※※>
60	近代京都の文化		染付草花模様皿	四代高橋道八	2点	明治12年 (1879)	<※※>
61	近代京都の文化		染付草花模様小水差	幹山伝七	1点	明治12年 (1879)	<※※>
62	近代京都の文化		染付紅茶茶碗	三代清風与平	2点	明治12年 (1879)	<※※>
63	近代京都の文化		染付草花模様砂糖入	幹山伝七	1点	明治12年 (1879)	<※※>
64	近代京都の文化		染付草花模様蓋付鉢	幹山伝七	1点	明治12年 (1879)	<※※>
65	近代京都の文化		色絵金彩唐人図三足香炉	九代帯山与兵衛	1点	明治時代中期	<※※>
66	近代京都の文化		『都の魁』	石田有年	1冊	明治16年 (1883)	<※※>
67	近代京都の文化		色絵母子図三足香炉	七代錦光山宗兵衛	1点	明治時代中期	<※※>
68	近代京都の文化		京都陶器会社図案資料		1件	明治23年 (1890年)	<※※>
69	近代京都の文化		宝船置物	初代伊東陶山	1点	大正4年 (1915)	<※※>
70	近代京都の文化		青花磁牡丹唐花鳥文花瓶	三代清風与平	1点	明治33年 (1900)	<※※>
71	近代京都の文化		大礼磁唐草文花瓶	五代清水六兵衛	1点	大正5年 (1916)	<※※>
72	日本のハリウッド京都		手廻し撮影機		1点	大正～昭和初期	<※>
73	日本のハリウッド京都		サイレント期の手廻し映写機		1点	大正～昭和初期	<※>
74	日本のハリウッド京都		映画のフィルム	70mm、35mm、16mm	3点		<※>
75	日本のハリウッド京都		日活太秦撮影所竣工記念絵葉書		1点	昭和2年 (1927)	<※>
76	日本のハリウッド京都	人気俳優のプロマイド	嵐長三郎 (嵐寛寿郎)、林長二郎 (長谷川一夫)、月形龍之介、片岡千恵蔵、市川右太衛門、大河内傳次郎、酒井米子、入江たか子、夏川静江、伏見直江、山田五十鈴		11点	昭和初期	<※>
77	日本のハリウッド京都	映画館のチラシ	京都市内		5点	大正～昭和初期	<※>
78	日本のハリウッド京都	京都新京極 帝国館チラシ			1点	昭和9年 (1934)	<※>
79	日本のハリウッド京都	『羅生門』ポスター			1点	昭和25年 (1950)	<※>
80	日本のハリウッド京都	『羅生門』プレスシートなど			2点	昭和25年 (1950)	<※>
81	日本のハリウッド京都	『羅生門』スチル写真			7点	昭和25年 (1950)	<※>

※所蔵欄<※>印は京都文化博物館、<※※>印は京都府(京都文化博物館管理)

2) 総合展示

① 三國幽眠—勤王漢学者と京都

会 期：2024年4月13日（土）～6月2日（日）

概 要：福井・三国湊出身の漢学者三國幽眠は、若い頃に上洛して鷹司家の儒官となり、多くの勤王志士や文化人と交流する。幕末には橋本左内らを関白・鷹司政通に紹介した罪で投獄される（安政の大獄）。九死に一生を得て京都に戻り、再び鷹司家に請われて、興正寺の家政総裁として活躍する。興正寺とは元は西本願寺の脇門跡であったが、明治9年（1876）に鷹司政通の次男である本寂上人が一派本山として独立させた。

幽眠は儒学者以外にも彦根出身の岸竹堂をはじめとする絵師や山本秀夫、山本復一らの学者たちなど幅広い交流が認められる。幽眠の息子・直篤は明治6年（1873）西村總左衛門家（現・千總）に養子に入っており、幽眠は絵画や染織産業関係者とも深いつながりを持ち、明治前期の学術・文化分野における中心的存在の一人であった。

平成28年（2016）に京都府に寄贈された大橋家の資料にも三國幽眠や岸竹堂、今尾景年らの作品がある。大橋家とは西村總左衛門家の番頭格にあたり、西村家における明治前期の厳しい経済状況の中で三國幽眠の人脈はかなり影響を与えたと思われる。今回は京都市在住の玄孫や、石川県七尾在住の本家の遺族らから借りた新出資料を中心に展示。これまであまり知られていなかった三國幽眠とい

う人物像と京都における明治初期の文化交流活動の新たな一面をあきらかにした。

出品数：66件

担当者：畑 智子

【関連行事】

(1) 講演会：「三國幽眠と興正寺・本寂上人について」

講 師：大原 観誠先生（真宗興正派）

日 時：2024年5月25日（土）午前10時30分～12時

会 場：3階フィルムシアター

参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る。

参加者：32名

(2) ギャラリートーク：

5月2日（木）、5月16日（木）各日14時から



三國幽眠—勤王漢学者と京都 ちらし

出品資料一覧

番号	資料名	作者	年代	員数	所蔵
1	三國幽眠夫妻像		明治9年（1876）頃	1幅	坂井市龍翔博物館
2	三國幽眠像		明治9年（1876）	1点	個人（福島家旧蔵）
3	三國静枝像		明治前期	1点	個人（福島家旧蔵）
4	三國直継像		江戸末～明治初期	1点	個人（福島家旧蔵）
5	三國直継像		明治9年（1876）	1点	個人（福島家旧蔵）
6	三國小枝像		明治10年（1877）	1点	個人（福島家旧蔵）
7	三國与兵衛影像（直定）	賛/本寂（華園摂信・葵山）	安政元年（1854）	1幅	個人
8	三國繁影像	賛/本寂（華園摂信・葵山）	慶応2年（1866）	1幅	個人
9	染翰乘	本寂（華園摂信・葵山）	嘉永6年（1853）～慶応2年（1866）	2冊	興正寺
10	福井藩金子借用証文		文政6年（1823）	1点	個人
11	三國家系譜	三國直継	明治28年（1895）頃	1冊	個人（福島家旧蔵）
12	三國直良像力		江戸末期	1点	個人（福島家旧蔵）
13	三國直行像力	岸連山	江戸末期	1点	個人（福島家旧蔵）

14	三國幽眠歌碑図	三國直継・直篤・直貞	明治42年(1909)	1幅	個人(福島家旧蔵)
15	孝経	三國幽眠 編	天保7年(1836)	2冊	個人(福島家旧蔵)
16	孝経傍訓	三國幽眠	天保8年(1837)	1冊	坂井市龍翔博物館
17	一洗堂年表	福島直頼の写 原/三國幽眠	天保4年(1833)~明治19年(1886)	1冊	個人(福島家旧蔵)
18	嘉永二年乙酉春二月 帰省日録	三國幽眠	嘉永2年(1849)	1冊	個人(福島家旧蔵)
19	東行日誌	三國幽眠	明治5年(1872)	1冊	個人(福島家旧蔵)
20	笑草(原本)	三國幽眠	安政6年(1859)	1冊	福井市立郷土歴史博物館
21	笑草(刊本)	原/三國幽眠	明治29年(1896)	1冊	福井市立郷土歴史博物館
22	橋本左内宛三國幽眠書状	三國幽眠	安政5年(1858)	1巻	福井市立郷土歴史博物館
23	七言絶句「栄枯窮達見天淵」	三國幽眠	明治26年(1893)	1幅	個人
24	六言絶句「一椀茶」	三國幽眠	明治9年(1876)	1幅	個人(福島家旧蔵)
25	書「お前百まで」	三國幽眠	明治13年(1880)	1幅	個人(福島家旧蔵)
26	五言絶句「橋上臨湖面」	三國幽眠	明治14年(1881)	1幅	福井市立郷土歴史博物館
27	七言絶句「自用衛生育英箴」	三國幽眠	明治19年(1886)	1幅	個人(福島家旧蔵)
28	書「色即是空」	三國幽眠	明治26年(1893)	1幅	個人(福島家旧蔵)
29	七言聯「一叢煙雨釣幽磯」	三國幽眠	明治26年(1893)	1幅	個人(福島家旧蔵)
30	書「弄琴明月」	三國幽眠		1幅	個人(福島家旧蔵)
31	書「三界 無庵」	三國幽眠	明治26年(1893)	1幅	個人(福島家旧蔵)
32	書「愉々快々」	三國幽眠	明治26年(1893)	1幅	個人(福島家旧蔵)
33	『古訓古事記』		明治4年(1871)	3冊	個人(福島家旧蔵)
34	『略解 古訓古事記』	三國幽眠	明治8年(1875)	3冊	個人(福島家旧蔵)
35	『詩礎階梯』	三國幽眠	明治13年(1880)	4冊	個人(福島家旧蔵)
36	『聖廟鑽仰集』	三國幽眠	明治4年(1871)/明治10年(1877)	2冊	個人(福島家旧蔵)
37	『雪斎運金図譜』	三國幽眠編	安政5年(1858)	1冊	個人(福島家旧蔵)
38	三國幽眠 印譜			1巻	個人(福島家旧蔵)
39	三國幽眠 印			6点	個人(福島家旧蔵)
40	脇差			1口	個人(福島家旧蔵)
41	亀香合		明治26年(1893)頃	1点	個人(福島家旧蔵)
42	本寂影像(七条袈裟)		明治初期	1幅	興正寺
43	本寂影像(五条袈裟)		慶応2年(1866)	1点	興正寺
44	本寂上人日記	本寂(華園摂信・葵山)	安政2年(1855)	1冊	興正寺
45	書「百事楽嘉良」	本寂(華園摂信・葵山)	明治4年(1871)	1幅	個人(福島家旧蔵)
46	洛東翠江館宴席写真記	三國幽眠	明治21年(1888)	1巻	個人(福島家旧蔵)
47	春嶽老閣下之尺牘	松平慶永(春嶽)	慶応元年(1865)	1幅	個人(福島家旧蔵)
48	扁額「鳶飛魚躍」	松平慶永(春嶽)	慶応3年(1867)	1点	福井市立郷土歴史博物館
49	梅花山鶏模様絵書見台		江戸後期	1台	個人
50	七言絶句「龍笛哀吟不可聞」	梁川星巖	江戸後期	1幅	京都府(京都文化博物館管理)
51	箴言「天下未首不由集而」	岡白駒	江戸中期	1幅	個人(福島家旧蔵)
52	六言絶句「黄卷一生事業」	摩島松南	江戸後期	1幅	個人(福島家旧蔵)
53	書「仰之彌高」	有栖川宮幟仁親王	明治3年(1870)	1幅	個人(福島家旧蔵)
54	辛未土明会之図	岸竹堂	明治4年(1871)	1巻	個人(福島家旧蔵)
55	蓬萊山	岸竹堂		1幅	京都府(京都文化博物館管理)
56	祇園夜桜	岸竹堂	嘉永6年(1853)	1幅	京都府(京都文化博物館管理)
57	松に熊図	岸竹堂	明治13年(1880)	1幅	京都府(京都文化博物館管理)
58	水辺捕狸	三國幽眠 画/今尾景年	明治初期	1幅	京都府(京都文化博物館管理)
59	扁額「順風快帆」	三國幽眠	明治10年(1877)	1点	京都府(京都文化博物館管理)
60	書「山路紅葉」	三國幽眠		1幅	京都府(京都文化博物館管理)
61	書「百事如意」	宮原易安 画/今尾景年	明治初期	1幅	京都府(京都文化博物館管理)
62	明治六年日記	三國幽眠	明治6年(1873)	1冊	個人(福島家旧蔵)
63	群鹿図屏風	沈南蘋	1725	8曲1隻	(株)千總
64	書貼交屏風	本寂ほか多数	江戸後期~明治前期	6曲1隻	個人(福島家旧蔵)
65	「雲煙一握」(一握雲煙)	三國幽眠ほか多数	文久3年(1863)~明治10年(1877)	13冊	個人(福島家旧蔵)
66	石山舟遊詩画卷	三國幽眠・大雅堂定亮	明治14年(1881)	1巻	坂井市龍翔博物館

② 祇園祭-山鉦巡行の歴史と文化-

会 期：2024年6月5日（水）～8月4日（日）
 概 要：祇園祭の歴史は平安時代初期にさかのぼり、都の安寧を脅かす疫神の退散を願った祭儀に由来するとされる。その後、祇園祭には山や鉦が登場するようになり、室町時代には現在のような山鉦の姿が整えられていった。祇園祭の山鉦巡行には、山や鉦を飾る華麗な装飾品のほか、注連縄切りの儀礼や勇壮な辻回しなど、さまざまな見どころがある。
 今回の展覧会では、往古の山鉦装飾品の姿を留めている品物とされる保昌山伝来の見送「仙人図」のほか、中央にヨーロッパで16世

紀後半に織られたタペストリーを配置し、その左右に中国王朝の官僚服裂を継ぎ合わせた国際色豊かな取り合わせの品である白楽天山の前懸など貴重な品物を展示した。また、かつての辻回しの様相をうかがわせる江戸時代初期の記録など、祇園祭の山鉦巡行にまつわる秘められた歴史を語る品々を展示公開した。

出品数：12件
 担当者：橋本 章
 ギャラリートーク：
 6月11日（火）、7月9日（火）各日14時から

出品資料一覧

番号	資料名	年代	員数	所蔵者
1	保昌山見送「仙人図」刺繍掛物	16世紀前半	1幅	公益財団法人保昌山保存会
2	白楽天山前懸 タペストリー「イーリアス」より（裁断片・中） 波濤に飛龍文様・中国刺繍官服（裁断片・左右）	（中）16世紀後半 （左右）18世紀中頃	1枚	公益財団法人白楽天山保存会
3	保昌山見送「寿星図」綴織	寛政10年（1798）	1枚	公益財団法人保昌山保存会
4	孟宗山見送「白綴地墨画孟宗竹藪林図」 竹内栖鳳画	昭和15年（1940）	1枚	公益財団法人孟宗山保存会
5	『祇園御本地』	江戸時代初期	1冊	京都府立京都学・歴史館
6	『祇園会鉦記』	江戸時代	1冊	京都府立京都学・歴史館
7	『祇園会御祭礼記』	天保7年（1836）	1冊	京都府立京都学・歴史館
8	『都名所百景』より「祇園会宵鏝」ほか	江戸時代後期	3枚	京都府立京都学・歴史館
9	『祇園御霊会細記』	宝暦7年（1757）刊	2冊	京都府（京都文化博物館管理）
10	『山鉦由来記』	宝暦7年（1757）刊	4冊	京都府（京都文化博物館管理）
11	放下鉦模型	江戸時代	1台	京都府（京都文化博物館管理）
12	月鉦模型	明治時代	1台	京都文化博物館

③ 天平の都 恭仁宮 最新の発掘調査成果から

会 期：2024年6月8日（土）～7月28日（日）
 前期展示＝6月8日（土）～7月6日（土）
 後期展示＝7月7日（日）～7月28日（日）
 概 要：京都府内にはかつて三つの都が営まれた。平安京、長岡京、そして恭仁京（恭仁宮）である。天平12（740）年に聖武天皇が遷都し、同13年に国分寺建立の詔、15年に墾田永年私財法といった、その後の日本に大きな影響を与えた重要な法令を発した都である。しかし、16年に難波宮を皇都とすることが宣言され、わずか3年3カ月で都としての歴史を閉じた。この都の様子を明らかにするべく、明

治期から小学校教員らによる調査が行われ、さらに昭和48年からは京都府による発掘調査がスタートした。それから半世紀が過ぎ、かつて幻とされた宮の構造が明らかとなってきた。本展では、これらの調査成果と今後の展望について紹介した。

出品数：39件
 担当者：村野正景、山崎頼人
 ギャラリートーク：
 6月14日（金）、6月28日（金）、7月12日（金）
 各日14時から

出品資料一覧

No.	名称	年代	所蔵	
1	続日本紀	明暦3年(1657)	木津川市立恭仁小学校	
2	本朝皇胤紹運録	江戸時代 16世紀末写本	公益財団法人古代学協会(当館寄託)	
3	正倉院模造宝物	黒柿蘇芳染金銀山水絵箱	20世紀前半	
4		紅牙撥鏤尺	20世紀前半	
5		紅牙碁子	20世紀前半	
6		紺牙碁子	20世紀前半	
7		紅牙撥鏤手板	20世紀前半	
8		玳瑁螺鈿手板	20世紀前半	
9		黄金瑠璃鈿背十二稜鏡	20世紀前半	
10		密陀絵盆 虎・山水・飛鳥文	20世紀前半	
11		籠箱	20世紀前半	
12		天平筆	20世紀前半	
13		無款舟型墨	20世紀前半	
14		新羅楊家上墨	20世紀前半	
15		華烟飛龍鳳凰極貞家墨	20世紀前半	
16		天平尺 模造品	20世紀前半	奈良女子大学
17		古活字版 萬葉集 五之六、十七之八	不詳(慶長期古活字本)	京都府立京都学・歴史館
18	新古今和歌集 写 卷第11	原本鎌倉時代初期、文明14年(1482)写	京都府立京都学・歴史館	
19	伊勢両宮日光東照宮例幣使料絵図	江戸時代 18~19世紀頃	木津川市立恭仁小学校	
20	都名所図会 卷5	天明6年(1786)	京都文化博物館	
21	山州名跡志 第16巻	正徳元年(1711)	京都府立京都学・歴史館	
22	好古小録	寛政6年(1794)	京都府(京都文化博物館管理)	
23	古瓦譜 写	大正13年(1924)	京都文化博物館	
24	校舎校地沿革	昭和11年(1936)頃	木津川市立恭仁小学校	
25	山城瓶原恭仁京趾海住山寺史蹟絵葉書	昭和5年(1930)	木津川市立恭仁小学校	
26	天平文化総合大展示会図録	昭和3年(1928)	京都文化博物館	
27	天平文化総合大展示会出品瓦	奈良時代 8世紀	木津川市立恭仁小学校	
28	郷土誌	明治42年(1909)頃以降	木津川市立恭仁小学校	
29	私達の郷土	大正12年(1923)	木津川市立恭仁小学校	
30	恭仁京誌	昭和8年(1933)か	木津川市立恭仁小学校	
31	学校沿革史	明治6年(1873)以降	木津川市立恭仁小学校	
32	天花散筆 校歌	昭和11年(1936)	木津川市立恭仁小学校	
33	藤原基揚筆 郷歌	昭和時代(1925~1947頃)	木津川市立恭仁小学校	
34	校歌	20世紀後半頃	木津川市立恭仁小学校	
35	古瓦拓本	昭和8年(1933)	木津川市立恭仁小学校	
36	内藤虎次郎筆 恭仁京大極殿址	大正12年(1923)	木津川市立恭仁小学校	
37	恭仁宮造営前の考古資料	縄文時代~古墳時代	京都府教育委員会	
38	恭仁宮関連考古資料	奈良時代 8世紀	京都府教育委員会	
39	山城(山背)国分寺関連考古資料	奈良時代 8世紀	京都府教育委員会	

※17は半期(前期：6月8日~7月6日、後期：7月7日~7月28日)で頁替、18は前期展示。

④福井勇—あいまいな輪郭

会 期：2024年8月3日（土）～9月23日（月・振休）

概 要：福井勇は1908年、京都府綾部市に生まれた。京都府師範学校を卒業した福井は現京都市立下鳥羽小学校に勤務、教職のかたわら絵を学び始める。関西美術院に通い黒田重太郎の指導を受けた福井は、二科展や全関西洋画展、京都市美術展覧会（市展）を発表の場とし、画家としての経験を重ねていった。戦後は小・中学校で教鞭をとりつつ、行動美術協会を拠

点とした制作活動を展開した。

本展では、霧深い亀岡の盆地を拠点として、身近なモチーフや風景を描き続けた画家・福井勇の、柔らかく豊かな絵画世界を紹介した。

出品数：22件、その他デッサン・色紙・資料類

担当者：清水智世

ギャラリートーク：

8月9日（金）、9月20日（金）各日14時から

出品資料一覧

No.	作品名	作家	制作年	素材	所蔵
1	水辺の花	福井 勇	昭和10年（1935）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
2	柘榴	福井 勇	昭和12年（1937）	油彩・キャンバス	個人
3	アネモネ	福井 勇	1930年代	油彩・キャンバス	個人
4	柿	福井 勇	昭和15年（1940）	油彩・キャンバス	個人
5	五月の穴太寺	福井 勇	昭和22年（1947）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
6	秋	福井 勇	昭和24年（1949）	油彩・キャンバス	個人
7	嵐山	福井 勇	昭和35年（1960）	油彩・キャンバス	個人
8	鳥とぶ峡谷	福井 勇	昭和36年（1961）	油彩・キャンバス	個人
9	高山寺の庭	福井 勇	昭和38年（1963）	油彩・キャンバス	個人
10	校倉と瓦と柿	福井 勇	昭和42年（1967）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
11	樹・柿・瓦	福井 勇	昭和42年（1967）	油彩・キャンバス	星野画廊
12	野川の朝霧	福井 勇	昭和45年（1970）	油彩・キャンバス	個人
13	野川の朝霧	福井 勇	昭和46年（1971）	油彩・キャンバス	個人
14	桐花風景	福井 勇	昭和46年（1971）	油彩・キャンバス	個人
15	鶏頭花	福井 勇	昭和46年（1971）	油彩・キャンバス	個人
16	光の中の像	福井 勇	昭和48年（1973）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
17	黒い画像と静物	福井 勇	昭和50年（1975）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
18	白い背景の静物	福井 勇	昭和51年（1976）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
19	黒い背景の静物	福井 勇	昭和51年（1976）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）
20	鶏頭花	福井 勇	昭和54年（1979）	油彩・キャンバス	個人
21	丸盆の柿	福井 勇	—	油彩・キャンバス	個人
22	朝霧の静物（亀岡市）	福井 勇	昭和61年（1986）	油彩・キャンバス	京都府（京都文化博物館管理）

※その他、デッサン(個人)、色紙(個人)、資料類

⑤ 足利将軍、京都に住まう。

会 期：2024年8月3日（土）～9月23日
 （月・振休）
 前期展示＝8月3日（土）～8月25日（日）
 後期展示＝8月27日（火）～9月23日
 （月・振休）

概 要：京都の地に武家政権を樹立した室町幕府。歴代の足利将軍は、この地に居所を定めて執政に当たっていた。「足利将軍、京都に住まう。」と題した本展では、京都に所在した将軍御所の歴史をたどりつつ、将軍たちの暮らしぶりを探った。京都府の所蔵する国宝「東寺百合文書」には、歴代将軍の発給した数々の古文書が残され、また、現在も調査が進められる

“花の御所” 室町殿の跡地からは、さまざまな遺物が発見されている。さらに、近年新たに紹介された京都府立京都学・歴史館所蔵の中世文書には、足利将軍の新居への引っ越し、将軍の官職の昇進を祝う宴会など、将軍たちの生活にまつわる資料が含まれる。本展では、これらの歴史資料を展覧し、京都の地に暮らした足利将軍の姿に迫った。

出品数：31件

担当者：佐藤稜介

ギャラリートーク：

8月9日（金）、9月20日（金）各日14時から

出品資料一覧

No.	指定	文書群	名称	年代	員数	所蔵	展示期間
1			中古京師内外地図（写）	明治時代 19世紀 書写 （原本は江戸時代 寛延3年〈1750〉）	1 鋪	京都府立京都学・歴史館	通期
2	国宝	東寺百合文書	東寺長者賢俊置文	南北朝時代 康永3年（1344）5月21日	1 通	京都府立京都学・歴史館	前期
3	国宝	東寺百合文書	四条隆蔭仏舎利奉請状	南北朝時代 貞和5年（1349）3月21日	1 通	京都府立京都学・歴史館	後期
4			園太暦（康永3年・康永4年）	江戸時代 書写	2 冊	京都府立京都学・歴史館	通期
5	国宝	東寺百合文書	足利直義下知状	南北朝時代 康永3年（1344）閏2月21日	1 通	京都府立京都学・歴史館	前期
6	国宝	東寺百合文書	足利直義下知状	南北朝時代 貞和元年（1345）12月17日	1 通	京都府立京都学・歴史館	後期
7			師守記（貞治3年）	江戸時代 天明元年（1781）書写	1 冊	京都府立京都学・歴史館	通期
8	国宝	東寺百合文書	足利義詮御判御教書	南北朝時代 貞治2年（1363）8月12日	1 通	京都府立京都学・歴史館	後期
9	国宝	東寺百合文書	足利義詮御判御教書	南北朝時代 貞治6年（1367）9月10日	1 通	京都府立京都学・歴史館	前期
10	国宝	東寺百合文書	足利義満下知状	南北朝時代 康応元年（1389）4月25日	1 通	京都府立京都学・歴史館	前期
11			室町殿跡 出土遺物	室町時代 15世紀	一式	京都市考古資料館	通期
12		松尾大社文書	伊勢貞継奉書	南北朝時代 永和4年（1378）8月27日	1 通	松尾大社	通期
13		松尾大社文書	伊勢貞親奉書	室町時代 長祿3年（1459）正月9日	1 通	松尾大社	通期
14		松尾大社文書	伊勢貞陸奉書	室町時代 延徳2年（1490）11月25日	1 通	松尾大社	通期
15			院宮及私第図	江戸時代 18世紀	2 巻	公益財団法人古代学協会	通期
16			空華日用工夫略集（永徳2年）	江戸時代 書写	1 冊	京都府立京都学・歴史館	通期
17	国宝	東寺百合文書	足利義満自筆仏舎利奉請状	室町時代 応永13年（1406）9月10日	1 幅	京都府立京都学・歴史館	後期
18	国宝	東寺百合文書	足利義持御判御教書	室町時代 応永17年（1410）12月24日	1 幅	京都府立京都学・歴史館	前期
19		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	永享三年御移徙覚書	室町時代 文安6年（1449）カ	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
20		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	永享三年御移徙公卿・殿上人散状	室町時代 文安6年（1449）カ	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
21		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	僧仲承書状	室町時代 （年未詳）12月13日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
22		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	威儀師慶運書状	室町時代 （年未詳）6月12日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
23		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	等持寺御八講僧名注文	室町時代 15世紀	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
24		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	等持寺御八講公卿以下散状	室町時代 永享9年（1437）12月	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
25		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	等持寺御八講御布施注文案	室町時代 永享9年（1437）12月17日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
26		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	等持寺御八講御布施代請取状	室町時代 永享12年（1440）5月4日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
27		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	等持寺御八講御布施代請取状	室町時代 永享12年（1440）5月4日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
28		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	足利義政任内大臣大饗参内供奉帯刀交名	室町時代 長祿2年（1458）7月25日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
29		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	足利義政任内大臣大饗参内供奉衛侍交名	室町時代 長祿2年（1458）7月25日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
30		旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	勧修寺経茂書状	室町時代 長祿2年（1458）8月30日	1 通	京都府立京都学・歴史館	通期
31			曇華院跡 出土遺物	室町時代 15世紀	一式	京都文化博物館	通期

⑥ 京都府コレクションにみる刺繍の世界

会 期：2024年8月10日（土）～10月6日（日）

概 要：刺繍は、衣服やさまざまな染織品に糸で自由に文様をあらわす技法として古くから用いられ、人々の生活を彩ってきた染織の加飾技法である。絞り染、型染、友禅染といったさまざまな染めの技法が現れてからも、刺繍は、染めの技法とともに用いられ、つねに染織の歴史の重要な位置にあった。

本展覧会では、京都府に所蔵される染織文化財から、桃山時代から近代までのさまざま

な刺繍のありようを紹介した。紹介した作品の中には、裏側が観察できるようにガラスにはさまれた作品や、小袖の状態で見られることのまれな江戸時代前期の新出資料の小袖もあり、一般の来場者のみならず、染織文化財の研究者からも、好評を得た。

出品数：19件

担当者：林 智子

ギャラリートーク：

8月27日（火）、9月25日（水） 各日14時から

出品資料一覧

No.	資料名	制作年代
1	礮文様小袖裂	桃山時代
2	立涌に草花文様小袖裂	桃山時代
3	菊蝶文様小袖裂	江戸時代前期
4	草花文様小袖	江戸時代前期
5	草花文様小袖裂	江戸時代前期
6	松鶴文様小袖	江戸時代前期
7	菊紅葉文様帷子	江戸時代中期
8	流水紅葉文様帷子	江戸時代中期
9	春草文様小袖	江戸時代末期～明治時代
10	矢絰に萩文様小袖	明治時代
11	井筒文様小袖	江戸時代後期
12	檜扇几帳橘文様小袖	江戸時代後期
13	梅樹鴛鴦文様小袖	江戸時代後期
14	波千鳥文様振袖	明治時代
15	紗綾型に蝶梅源氏車文様掛下帯	江戸時代後期
16	梅源氏車文様掛下帯	江戸時代後期
17	桐文様振袖	昭和時代前期
18	草花文様帯	昭和時代前期
19	琴高仙人図袱紗ほか	江戸時代～明治時代

※所蔵はすべて京都府(京都文化博物館管理)

⑦ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝14 御堂関白記と源氏物語

会 期：2024年9月28日（土）～11月24日（日）

前期展示＝9月28日（土）～10月27日（日）

後期展示＝10月29日（火）～11月24日（日）

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。なかでも、平安時代に栄華を極めた藤原道長の自筆日記、国宝「御堂関白記」は、平安時代の政治や文化を今に伝えるものとして、並ぶもののない価値を有している。今回の陽明文庫の名宝展では、国宝「御堂関白記」の中から、藤原道長による自筆本のみ4巻を、14回の本展の歴史の中で初めて、一挙に紹介した。あ

わせて、道長と同時代を生きた紫式部によって著された『源氏物語』の写本の中から、鎌倉時代に制作され重要文化財に指定される一揃いと、室町時代と江戸時代にそれぞれ書写された組を展覧し、関連作品とともに源氏物語受容の歴史をたどった。

協 力：公益財団法人陽明文庫

出品数：15件

担当者：佐藤稜介

ギャラリートーク：

10月2日（水）、11月6日（水）各日14時から

出品資料一覧

No.	指定	名称	筆者等	年代	員数	展示期間
1	国宝	御堂関白記 自筆本 長徳四年下巻	藤原道長筆	平安時代 長徳4年 (998)	1巻	前期
2	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘五年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘5年 (1008)	1巻	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘七年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘7年 (1010)	1巻	後期
4	国宝	御堂関白記 自筆本 寛仁三年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛仁3年 (1019)	1巻	後期
5		和漢朗詠集断簡	伝世尊寺定成筆	鎌倉時代 13世紀	1幅	通期
6		源氏物語和歌色紙貼交屏風	近衛信尹筆	江戸時代 17世紀	六曲一双	通期 (前後期隻替え)
7		和歌六義屏風	近衛信尹筆	江戸時代 17世紀	六曲一双	通期 (前後期隻替え)
8		和歌懐紙「十首和歌」	近衛前久筆	安土桃山時代 16世紀	1幅	通期
9	重要文化財	源氏物語		鎌倉時代 14世紀	一式	通期
10		源氏物語	後柏原院ほか筆	室町時代 16世紀	一式	通期
11		源氏物語	近衛基熙筆	江戸時代 元禄13年 (1700)～宝永元年 (1704)	一式	通期
12	重要美術品	宇治拾遺物語絵巻 巻第二	(詞書) 近衛家熙筆 (絵) 狩野探幽筆	江戸時代 16～17世紀	1巻	通期
13	重要美術品	宇治拾遺物語絵巻 巻第三	(詞書) 近衛家熙筆 (絵) 狩野尚信筆	江戸時代 16～17世紀	1巻	通期
14	重要美術品	宇治拾遺物語絵巻 巻第四	(詞書) 近衛家熙筆 (絵) 狩野安信筆	江戸時代 16～17世紀	1巻	通期
15	重要美術品	宇治拾遺物語絵巻 巻第五	(詞書) 近衛家熙筆 (絵) 狩野尚信筆	江戸時代 16～17世紀	1巻	通期

※所蔵はすべて公益財団法人陽明文庫

⑧ 池大雅展 山水颯爽

会 期：2024年9月28日（土）～11月24日（日）

概 要：池大雅（1723～1776）は、近世日本の文人画史を代表する巨匠の一人である。大雅が生を受けたのは、江戸幕府成立100年を経て、社会・経済が十分に成熟した江戸時代中期の京都。好奇心旺盛で学識に溢れたこの都市の住人に囲まれ、少年時代から書画に才能を発揮した大雅は、同時代の最新のモードであった中国の文人文化に大きな興味と憧れを抱き、書画家としての人生を歩み始める。諸国を歴訪して見聞を深め、古今の漢詩、学問に触れ、まだ見ぬ大陸への憧れを自由でおおらかな独特の筆さばきで表現した。その作品は非常に表現主義的、個性的なもので、新たな文化を貪欲に求めていたこの時代に多くの支持者を

集めた。一方、彼自身は世俗の名利を意に介することなく、古の君子、詩人のごとく雅・高潔さを追い求めたと伝えられている。文人画家として自らの個性を確立した大雅、そしてその生き方を喜んで支えた人々。大雅の生き方とその芸術作品は、まさしく18世紀の近世社会が生み出した豊かさを物語るものである。本展示では、池大雅美術館より寄贈され現在京都府が収蔵する池大雅のすぐれた書画および関連資料の数々を紹介した。

出品数：14件

担当者：有賀 茜

ギャラリートーク：

10月2日（水）、11月6日（水） 各日14時から

出品資料一覧

通番	資料名	制作者	制作年	技法・材質	数量
1	池大雅居室之図	野呂介石	寛政4年（1792）	紙本墨画	一幅
2	墨竹図	池 大雅		紙本墨画	一幅
3	高士訪隠図屏風	池 大雅	寛延3年（1750）	紙本淡彩	六曲一隻
4	蕙石図	池 大雅		紙本墨画	一幅
5	風竹図	池 大雅		紙本墨画	一幅
6	金鶏落照図	池 大雅		紙本淡彩	一幅
7	湖畔松林図	池 大雅		紙本淡彩	一幅
8	柳下童子図屏風（重要文化財）	池 大雅		紙本淡彩	八曲一隻
9	夏景山水図	池 大雅	明和8年（1771）	紙本墨画	一幅
10	巫峽山水図	池 大雅		紙本淡彩	一幅
11	獨楽園記	池 大雅	享保19年（1734）	紙本墨書	一幅
12	山亭小酌図	池 大雅		絹本淡彩	一幅
13	葡萄図	池 大雅		紙本墨画	一幅
14	松茸図	池 大雅		紙本墨画	一幅

※所蔵はすべて京都府（京都文化博物館管理）池大雅美術館コレクション

⑨ 京都府内の学校所在資料展 3

会 期：2024年10月12日（土）～12月1日（日）
 概 要：学校が長く所蔵し、継承してきた資料には豊かな価値がある。京都文化博物館では、2016年、2018年、2020年、2022年と隔年で、学校教員や生徒、地域組織の方々と協力して、京都府内の学校の貴重な資料を展示してきた。今年度は、2013年度から調査や活用を当館が協働で実施してきた京都府立鴨沂高等学

校、京都府立丹後郷土資料館が資料の管理を行ってきた京都府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎の2校の資料を紹介した。

出品数：12件

担当者：村野正景、山崎頼人

ギャラリートーク：

10月18日（金）、11月15日（金）各日14時から

出品資料一覧

No.	名称	年代	所蔵
1	絵葉書	20世紀前半	京都府立鴨沂高等学校
2	地理教授用標本 工芸品第一種 織物之部	明治31年（1898）	京都府立鴨沂高等学校
3	日本地理歴史写真集	大正5（1916）～昭和2（1927）年頃	京都府立鴨沂高等学校
4	名所・旧跡写真カード	大正12（1923）～昭和9（1934）年頃	京都府立鴨沂高等学校
5	満蒙印画輯（亞東印画輯）	大正13（1924）～昭和19（1944）年	京都府立鴨沂高等学校
6	絵地図	20世紀前半	京都府立鴨沂高等学校
7	郷土研究部機関誌 かやだに	昭和37（1962）～昭和40（1965）年	個人
8	福井遺跡出土 広口壺	鎌倉時代 13世紀後半	京都府立宮津天橋高等学校
9	福井遺跡出土 土鍋	鎌倉～室町時代 13～14世紀	京都府立宮津天橋高等学校
10	福井遺跡出土 筒形容器	鎌倉～室町時代 13～14世紀	京都府立宮津天橋高等学校
11	福井遺跡出土 甕	室町時代 14世紀	京都府立宮津天橋高等学校
12	福井遺跡出土 瓦	室町時代 14世紀	京都府立宮津天橋高等学校

※京都府立宮津天橋高等学校所蔵品は京都府立丹後郷土資料館寄託

⑩ 鶴澤派探究-朝廷御用絵師の要-

会 期：2024年11月30日（土）～2025年1月26日（日）
 概 要：鶴澤派初代の探山は狩野探幽門下四天王の一人として、江戸で画技を磨いた。当時、探幽や兄弟は江戸幕府のお抱え絵師として多忙をきわめながら、宮中の大きな仕事がある度に京都へやってきていた。しかし金銭的にも肉体的にも、江戸狩野が京都で仕事を続けることは困難と言わざるを得なかった。そこで白羽の矢が立ったのが、探山である。探山は息子を連れて京都へ移住し、江戸狩野らしい絵を描くようにと命ぜられた。

探山は京都移住後、息子の探鯨を育て、公家や朝廷に数多くの作品を遺したといわれている。しかしその多くが相次ぐ大火によって失われ、現在残っている屏風や掛軸は貴重な作例といえる。いっぽう、息子の探鯨、その息子の探索は京都で勃興してきた多くの絵師から影響を受け、江戸狩野と京都風がまざりあった、新たな画風に挑戦した。鶴澤派の影響力の大きさは、彼らが西日本に育てた門人の多さから伺われる。応挙の師匠とされる石田幽汀をはじめ、大坂の大岡春卜、加賀藩お抱え絵師の佐々木泉景、田辺藩お抱え絵師の真砂幽泉など、門人は各地で筆をふるった。

彼らの作品について、京都文化博物館で

は「京の絵師は百花繚乱」「近世京都の狩野派展」を契機として、数十年の研究蓄積を有している。この度、鶴澤派の一大コレクションとして知られる七宝庵コレクションを中心に、その動向に焦点を当てた展覧会を開催した。

出品数：33件

担当者：有賀 茜、千種佳奈

ギャラリートーク：1月15日（水）14時から



鶴澤派探究-朝廷御用絵師の要-
 ちらし

出品資料一覧

No.	資料名	制作者	材質・技法	数量	所蔵
1	鶴図	鶴澤探山	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
2	雑画卷	鶴澤探山	紙本墨画淡彩	1巻	七宝庵コレクション
3	藻魚図	鶴澤探山	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
4	関羽図	鶴澤探山	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
5	福祿寿図	鶴澤探山	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
6	鶴図	鶴澤探山	紙本墨画淡彩	1幅	七宝庵コレクション
7	諸画卷	鶴澤探山	紙本墨画	1巻	七宝庵コレクション
8	琴棋書画図屏風	鶴澤探山	紙本着色	六曲一双	七宝庵コレクション
9	布袋・龍虎図	法橋幽泉	紙本墨画	三幅対	七宝庵コレクション
10	神農図	法橋幽泉	絹本墨画	1幅	七宝庵コレクション
11	寿老人騎亀図	法橋幽泉	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
12	紅梅水辺群鶴図	法橋幽泉	絹本墨画淡彩	1幅	七宝庵コレクション
13	宝珠図	法橋幽泉	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
14	宝珠に鼠図	真砂幽泉	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
15	鶴澤家伝来印章		石製	1式	京都府（京都文化博物館管理）

16	寿老と鹿図	山本宗川	絹本墨画淡彩	1幅	七宝庵コレクション
17	佐野の渡り図	鶴澤探鯨	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
18	稚児文殊図	鶴澤探鯨	紙本墨画淡彩	1幅	七宝庵コレクション
19	文宣王図	鶴澤探鯨	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
20	三羽鶴図	鶴澤探鯨	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
21	菊慈童図	鶴澤探索	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
22	寿老人と宝珠図	石田遊汀	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
23	旭日松鶴図	鶴澤探索	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
24	草花図屏風	鶴澤探索	金地着色	六曲一隻	七宝庵コレクション
25	富士図	鶴澤探索、鶴澤探泉	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
26	赤壁図屏風	鶴澤探泉	紙本墨画	六曲一双	七宝庵コレクション
27	七草之図	鶴澤探泉	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
28	江の島図	鶴澤探泉	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
29	俵に鼠図	鶴澤探春	紙本墨画	1幅	七宝庵コレクション
30	群鶴図屏風	鶴澤探真	紙本着色	六曲一双	七宝庵コレクション
31	童子騎牛図	鶴澤探龍	紙本墨画淡彩	1幅	七宝庵コレクション
32	翁図	大森搜月	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション
33	菊慈童図	田中索我	絹本着色	1幅	七宝庵コレクション

⑪ うつす美 江戸時代の絵画学習

会 期：2024年12月14日（土）～2025年2月2日（日）
 概 要：肉筆画における「本物」の価値観が、江戸時代と現代とでどのように異なるか、という視点に立って開催した展示である。江戸時代、あるいは明治時代に入ってもなお絵師に求められたものは、オリジナリティよりも「いかに写せるか」ということであった。江戸時代後期、今までにない構図や描き方の新奇性が徐々に評価されるようになった。しかしあくまで重要視されたのは、偉大な先人と共有するものを明らかに示すことであった。そのため、絵師たちは先人たちの絵をうつし、手元にストックし、必要なときにそれを取り出して制作にあたった。

本展示会では、絵師がうつす行いの理由・過程について積極的に捉え、考察を行った。とくに京都府が所蔵・管理する作品のうち、「うつし」であるためになかなか展示の機会がなかったものを展示した。反響は大きく、以降の文化財貸与・活用に大きく寄与する展示ともなった。また、個人所蔵者から「うつしだからといって軽んずるのではなく、大切に保管したい」という声があったことも重要である。

出品数：11件

担当者：有賀 茜、千種佳奈

ギャラリートーク：1月15日（水）、14時から

出品資料一覧

No.	資料名	制作者	材質・技法	数量	所蔵
1	四季松図屏風	勝山琢眼	絹本着色	六曲一双	七宝庵コレクション
2	雪舟模大聖世尊像	佐久間草偃	紙本着色	一幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
3	雪舟模十六羅漢像	佐久間草偃	紙本着色	十六幅のうち三幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）
4	七難圖卷（模写）	多村拳秀	紙本着色	一卷	京都府蔵（京都文化博物館管理）
5	鳥獸戯画（模写）	安達真速	紙本淡彩	一卷	京都府蔵（京都文化博物館管理）
6	阿弥陀来迎図	海北友竹	絹本着色	一幅	七宝庵コレクション
7	董法山水図	杜濬	紙本墨画	一幅	京都府蔵（京都文化博物館管理）

8	年中行事絵巻（模写）	冷泉為恭	紙本淡彩	一卷	京都府蔵（京都文化博物館管理）
9	承安五節会絵巻模本		紙本著色	一卷	京都府蔵（京都文化博物館管理）
10	古刀剣摸図	冷泉為恭	紙本著色	三巻	京都府蔵（京都文化博物館管理）
11	学画卷	雲鯨	紙本著色	四巻のうち二巻	個人蔵

⑫ 古写真と絵葉書で巡る京の名所

会 期：2025年2月1日（土）～4月13日（日）

※2月15日～3月19日はリニューアルのため休室

概 要：現代では写真の撮影は誰でも容易に行えるが、写真術が日本に到来した江戸時代末期では、写真術を修めた写真師にしか撮影できないものであった。その後、機材の改良や量産機の登場により、撮影場所や機材管理の制限が減り、比較的簡単に撮影が可能になったことから、明治時代後期ごろから広く一般にも写真が普及した。これにより、より多くの写真家が登場し、さまざまな京都の景色が写真に収められるようになった。

また、同時期に私製葉書の使用が認可されたことで生まれた絵葉書には写真を使用したも

のが多く発行された。これらの絵葉書は複製写真よりも安価であり、人々は絵葉書によって名所や景勝地の景色を楽しむことができるようになった。

本展覧会では古写真の中でも明治時代後期から昭和初期に撮影されたものと、同時期に発行された絵葉書を通して、いつの時代も人々の心を掴んで離さない京都の名所旧跡のかつての姿や、今も変わらぬ景色を紹介した。

出品数：66件

担当者：上村茉莉絵

ギャラリートーク：

2月7日（金）、4月9日（水）各日14時から

出品資料一覧

番号	資料名	撮影者/発行元	年代	所蔵
1	京都駅（二代目）	黒川翠山	昭和初期	京都府立京都学・歴史館
2	松尾神社	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
3	伏見雀のお宿	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
4	伏見雀のお宿	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
5	平安神宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
6	平安神宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
7	平安神宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
8	平安神宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
9	平安神宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
10	平安神宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
11	貴船神社	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
12	貴船	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
13	貴船	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
14	北野天満宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
15	北野天満宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
16	北野天満宮	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
17	金閣寺舍利殿（全景）	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
18	金閣寺舍利殿（全景）	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
19	龍安寺（石庭）	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
20	常照皇寺の桜	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
21	仁和寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館

22	仁和寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
23	保津川	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
24	保津川下り	黒川翠山	大正～昭和初期	京都府立京都学・歴史館
25	保津川下り	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
26	保津川の筏流し	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
27	嵐山	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
28	嵐山舟遊び	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
29	嵐山舟遊び	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
30	天龍寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
31	勝持寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
32	勝持寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
33	東寺	黒川翠山	明治末	京都府立京都学・歴史館
34	西本願寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
35	西本願寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
36	東本願寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
37	東本願寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
38	東福寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
39	伏見稲荷大社	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
40	伏見稲荷大社	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
41	平等院	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
42	醍醐寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
43	醍醐寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
44	六角堂	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
45	清水寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
46	八坂神社	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
47	インクライン	黒川翠山	大正末～昭和	京都府立京都学・歴史館
48	インクライン	黒川翠山	大正	京都府立京都学・歴史館
49	銀閣寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
50	銀閣寺	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
51	下鴨神社	黒川翠山		京都府立京都学・歴史館
52	観光の京都	京都観光写真協会編	明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）
53	版画京名所		明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）
54	木版ゑはがき京名所		明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）
55	千古の都	京洛観光	明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）
56	長岡天満宮境内繪葉書	長岡天満宮社務所	1900～1920年代	京都府（京都文化博物館管理）
57	比叡山十六景		1900～1920年代	京都府（京都文化博物館管理）
58	鞍馬寺	鞍馬寺	1900～1920年代	京都府（京都文化博物館管理）
59	鳳凰堂繪葉書		1900～1920年代	京都府（京都文化博物館管理）
60	石清水八幡宮繪葉書	石清水八幡宮社務所、便利堂	明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）
61	獅子谷法然院繪葉書	便利堂印刷	明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）
62	西芳寺繪葉書	西芳寺	1900～1920年代	京都府（京都文化博物館管理）
63	苔寺	西芳寺	明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）
64	三尾の秋	北野自動車商會	1900～1920年代	京都府（京都文化博物館管理）
65	新七條停車場			京都府（京都文化博物館管理）
66	平安神宮神苑繪はがき	官幣大社平安神宮社務所	明治末～昭和10年頃	京都府（京都文化博物館管理）

3) ぶんぱく京都講座

①「三國幽眠展を楽しむために」

日 時：2024年5月9日（木）午前10時30分～12時

講 師：畑 智子

参加者数：21名

概 要：三國幽眠は、海運業を営む豪商宮腰屋与兵衛の三男として生まれたが、勉学の道を選び、天保3年（1832）京都に出て鷹司家の儒官となり、生涯を京都で暮らす。そして、幕末の政情不安定な混乱期において多くの儒学者や勤王派志士たちと交わり活動する。幽眠は夭折した子どもを除いても6人の子に恵まれる

が、宗家を継ぐ長兄や次兄の子どもたちの面倒もみて、宗家の存続についても深く関与していく。明治23年（1890）、81歳になった幽眠は明治天皇、皇后両陛下に拝謁する機会を得、その3年後には従六位に叙せられる。

本講座では、展覧会出陳資料を通してこれまであまり知られていなかった三國幽眠の生涯を紹介するとともに、幽眠が生きた時代とその交友関係についても詳述した。

②「祇園祭の山鉾巡行について」

日 時：2024年7月9日（火）午前10時30分～12時

講 師：橋本 章

参加者数：72名

概 要：はじめに江戸時代後期に大坂の版元の石川屋和助が企画し制作した『都名所百景』から川部玉園が手掛けた「祇園会宵鋸」を紹介し、

次に保昌山見送「仙人図」や白楽天山前懸、孟宗山見送「白綴地墨画孟宗竹藪林図」について説明しながら懸装品のうつりかわりについて説明した。そして祇園祭山鉾巡行古写真等を用いて注連縄切りや辻回しのうつりかわりについても解説した。

③「かやだにの考古学」

日 時：2024年11月8日（金）午前10時30分～12時

講 師：山崎頼人

参加者数：5名

概 要：『かやだに』は昭和36年（1961）に創刊された旧加悦谷高等学校郷土研究部の機関誌である。特に、本誌5号には、昭和39年（1964）に創部以来初の発掘調査を実施した船山古墳の様子が高校生の目線で記されている。本誌

に記録された成果は、同古墳群唯一の報告書であり、この地域の歴史を語る上で重要である。

令和6年度総合展示「京都府内の学校所在資料展3」では、これらの旧加悦谷高校の郷土研究部による取り組み（昭和30～40年代）を紹介したが、ぶんぱく講座では、これからの現与謝野町に残る文化遺産の保存と活用についても考えた。

④「古写真とデジタルアーカイブ」

日 時：2025年2月11日（火・祝）午前10時30分～12時

講 師：上村茉莉絵

参加者数：28名

概 要：「古写真と絵葉書で巡る京の名所」の開催に合わせて実施。博物館法の改正に伴い取り組みが必須となったデジタルアーカイブについ

て、その仕組みやあり方、立ち位置、美点等について紹介した。また、古写真のデジタルアーカイブを作る場合を例として取り上げながら、作成における考慮点や今後の課題についても紹介した。

Ⅲ - 2 特別展示

① 松尾大社展 みやこの西の守護神

会 期：2024年4月27日（土）～6月23日（日）
[51日／58日]
開室時間：午前10時～午後6時まで
※金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）
休館日：月曜日（祝日は開館、翌日休館。ただし、4月29日は臨時開館）
会 場：京都文化博物館4階・3階展示室
入場料：一般1,600円（1,400円）、大高生1,000円（800円）、中小生500円（300円）
※（ ）内は前売券、および20名以上の団体料金
主 催：京都府、京都文化博物館、松尾大社、朝日新聞社
協 賛：アサヒグループホールディングス、月桂冠、ダイキン工業、竹中工務店
特別協力：学校法人瓜生山学園京都芸術大学、エリジオン、NTTコミュニケーションズ、ソニーマーケティング、ヤマハ発動機
後 援：東京大学史料編纂所、国立歴史民俗博物館、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都
担当者：西山 剛、佐藤稜介
入場者：14,053人（1日平均275.5人）

【概 要】

松尾大社は、京都市西京区に鎮座し、大山咋神と市杵島姫命を祭神とする。平安遷都以前から渡来氏族である秦氏の信仰が強く、平安遷都以後は賀茂社とならび王城地・京都の守護神とあがめられた。朝廷の崇敬も厚く、貞観8年（866）正一位の神階に達し、『延喜式』では名神大社に列し、官幣にあずかり、一条天皇以降多くの行幸が行われた。松尾大社所蔵の木造男神像2軀、女神像1軀は平安初期の優作であり、わが国最古級の神像彫刻として重要文化財に指定されている。また、平安期以来の貴重な社家文書が数多く伝わるほか、近年新発見の中世文書は広く注目を集めた。本展では、これら累代の神宝および歴史資料、美術品、工芸品を一堂に集め、松尾大社が紡いできた1200年の歴史を紹介した。

【展覧会の構成】

プロローグ 受け継がれる信仰
第1章 名所としての松尾大社



松尾大社展 みやこの西の守護神
図録表紙

- 第2章 天下人と松尾大社
- 第3章 所領と神事
- 第4章 信仰の顕在

【出品作品数】

109件

【関連行事】

(1) 「近代洋風建築で楽しむお酒の夕べ」

登壇者：佐々木晃氏（佐々木酒造代表取締役）、中上倫子氏（鵜飼商店四代目店主）
司 会：佐藤稜介
日 時：2024年5月21日（火）午後6時～8時
会 場：別館ホール
参加費：3,600円（チケット代を含む）
参加者：45名

(2) 歴史ウォーク「松尾大社を歩く」

講 師：野村朋弘氏（京都芸術大学教授／本展監修者）
日 時：2024年5月25日（土）午後1時～4時
場 所：松尾大社周辺
参加費：1,000円（拝観料、資料代を含む）
※本展覧会入場券（半券可）が必要
参加者：30名

(3) 特別展記念シンポジウム「最新研究で解き明かす松尾大社史料の魅力」

登壇者：野村朋弘氏、天野真志氏（国立歴史民俗博物館 准教

授)、石井伸宏氏(鳥取市立歴史博物館 学芸員)、佐々木創氏(共立女子短期大学 非常勤講師)、渋谷綾子氏(東京大学史料編纂所 特任助教)

司 会: 西山 剛

日 時: 2024年6月13日(木) 午後2時~5時

会 場: 別館ホール

参加費: 無料 ※ただし本展覧会入場券(半券可)が必要

参加者: 152名

(4) 学芸員によるギャラリートーク

日 時: 5月8日(水)、5月10日(金)、5月15日(水)、

5月22日(水)、5月24日(金)、5月29日(水)、6月5日(水)、6月7日(金)、6月12日(水)、6月19日(水)

各日午後6時~6時30分

会 場: 4階・3階展示室

参加費: 無料 ※ただし当日入場者に限る

参加者: 20名(5月8日)、36名(5月10日)、28名(5月15日)、20名(5月22日)、

48名(5月24日)、25名(5月29日)、27名(6月5日)、31名(6月7日)、

27名(6月12日)、40名(6月19日)

② 日本の巨大ロボット群像—鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—

会 期: 2024年7月6日(土)~9月1日(日)

[51日/58日]

開室時間: 午前10時~午後6時まで

※ナイトミュージアムを実施した水・金曜日は午後8時30分まで(入室は30分前まで)

休館日: 月曜日(祝日は開館、翌日休館。ただし、7月16日は臨時開館)

会 場: 京都文化博物館 4階・3階展示室

入場料: 一般・大学生1,800円(1,600円)、中高生1,300円(1,100円)、小学生700円(500円)

※()内は前売券、および20名以上の団体料金

主 催: 京都府、京都文化博物館、産経新聞社、関西テレビ放送

後 援: 京都府教育委員会、京都市教育委員会、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

協 力: AIC、AICライツ、エイケン、エディット、KADOKAWA、キングレコード、クロスメディア、KOBE鉄人PROJECT、シグナル・エムディ、スタジオぬえ、創通、ダイナミック企画、東映、東映アニメーション、東北新社、トムス・エンタテインメント、博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、バンダイナムコフィルムワークス、光プロダクション、ビックウエスト、フライングドッグ、Production I.G.、ボックス、メディアウェイブ、ライツ・イン

企 画: 西日本イベントサービス、ぴあ

企画協力: 廣田恵介、タルカス(五十嵐浩司)

監 修: 山口洋三

担当者: 上村茉莉絵

入場者: 35,919人(1日平均704.3人)



「日本の巨大ロボット群像—鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—」
ちらし

【概要】

本展では、巨大ロボットが登場するロボットアニメについて60年の歴史をたどるとともに、その映像表現の変化や登場するロボットのデザインの遷移を体感できるコンテンツを含めて紹介するものであった。当館では珍しいサブカルチャーに関する展覧会であったため普段の展覧会とは客層が違ったが、3万人を超える多くの方にご来館いただいた。

また、講演会やオフ会イベントなどの従来のロボットアニメファン向けのイベントに加え、子ども向けのプラモデル教室や映画の上映会などを開催することで、子どもを含む若年層や家族連れの方にも本展を楽しんでいただけるよう努めた。

アンケート結果によると、女性や家族連れ、海外からのお客様など、当初想定していたよりも広い範囲の

方に足を運んでいただけたことがわかった。また、来場者のほとんどは本展覧会に満足されていた。

【展覧会の構成】

- 第1章 日本各地で“現実化”した巨大ロボットたち
- 第2章 巨大ロボットの元祖『鉄人28号』の変遷
- 第3章 搭乗、強化、合体、変形—70年代巨大ロボットの想像力
- 第4章 ロボットが現実「に」いる世界—『機動戦士ガンダム』
- 第5章 「大きさ」から巨大ロボットのリアリティを実感する
- 第6章 ロボットの「内部メカ」、1980年代以降の大発展
- 第7章 荒唐無稽なロボットたちの帰還—アニメ本来の楽しさとは！？
- 最終章 巨大ロボットについて語る—60年の旅路の終わりに

【出品作品数】

約200件

【関連行事】

- (1) 講演会「玩具・プラモから見るロボットアニメ —マジンガーZからガンダム、そしてファイブスター物語へ—」
講師：五十嵐浩司氏（アニメーション研究家、本展ゲストキュレーター）、山口洋三氏（インディペンデントキュレーター、本展監修者）
日時：2024年7月6日（土）午前10時30分～12時
会場：3階フィルムシアター
参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要
参加者：136名
- (2) オフ会「ロボットアニメの浪漫」
※ナイトミュージアム関連事業
登壇者：應矢泰紀氏（京都国際マンガミュージアム 学芸室員）、上村茉莉絵
日時：7月14日（日）午後6時～8時
会場：別館ホール
参加費：1,000円 ※本展入場券（半券可）の提示が必要
参加者数：40名
- (3) およこ鑑賞会
日時：2024年7月25日（木）、8月1日（木） 各日午前11時～11時30分
会場：4階・3階展示室
参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る
参加者：7名（7月25日）、10名（8月1日）

(4) ナイトギャラリートーク

※ナイトミュージアム関連事業

日時：2024年8月2日（金）、8月23日（金） 各日午後6時～6時30分

会場：4階・3階展示室

参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る

参加者：20名（8月2日）、55名（8月23日）

(5) 座談会「プロと“観る”アニメ —UI研究者と語るロボットアニメ—」

※ナイトミュージアム関連事業

講師：倉本到氏（福知山公立大学 教授）、上村茉莉絵

日時：2024年8月14日（水）午後6時～8時

会場：別館ホール

参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要

参加者：50名

(6) 「ロボットアニメの熱さと絆—ガールパワーと熱血ロボット—」上映会

日時：2024年8月16日（金）午後1時30分～、午後6時30分～（計2回）、8月17日（土）午後1時30分～、午後5時～（計2回）

会場：3階フィルムシアター

上映作品：『サクラ大戦 活動写真』（8月16日）、『プロメア』（8月17日）

参加費：総合展入場料 ※上映当日の入場者は本展入場券で鑑賞可能

参加者：138名（8月16日）、162名（8月17日）

(7) 「はじめてのロボットプラモデル講座」

日時：2024年8月25日（日）午前10時30分～12時、午後2時～3時30分

会場：6階展示室

参加費：2,500円 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要
参加者：62名

(8) 子ども向け解説付きオリジナル塗り絵

配布期間：本展覧会の会期中 ※なくなり次第終了、曜日ごとの日替わり配布

配布場所：4階展示室入り口で入場者に無料配布

対象年齢：子ども

(9) 外国人向け解説シート

※ナイトミュージアム関連事業

配布期間：本展覧会の会期中 ※なくなり次第終了

配布場所：4階展示室入り口で入場者に無料配布

料金：無料 ※ただし当日の入場者に限る

(10) ワークシート

※ナイトミュージアム関連事業

配布期間：本展覧会の会期中の水・金曜日午後5時以降

※なくなり次第終了

配布場所：4階展示室入り口で入場者に無料配布

料金：無料 ※ただし当日の入場者に限る

③ 生誕140年記念 石崎光瑠

会 期：2024年9月14日（土）～11月10日（日）

〔50日／58日〕

開室時間：午前10時～午後6時まで

※ナイトミュージアムを実施した水・金曜日は午後8時30分まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）

会 場：京都文化博物館 4階・3階展示室

入場料：一般1,800円（1,600円）、大 高 生 1,200円（1,000円）、中小生600円（400円）

※（ ）内は前売券、および20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、京都新聞

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

特別協力：南砺市立福光美術館

担当者：植田彩芳子、清水智世

入場者：27,741人（1日平均554.8人）

【概 要】

石崎光瑠（1884～1947）は、明治後期から昭和前期にかけて京都を中心に活躍し、鮮やかな色彩で華麗な花鳥画を数多く残した日本画家である。富山県砺波郡福光町（現南砺市）に生まれた光瑠は、石川県金沢に滞在した江戸琳派の絵師・山本光一に師事、その後19歳で京都に出て、日本画の大家である竹内栖鳳に入門。大正5年（1916）から翌年にかけてインドを旅し、帰国後、その成果として熱帯風景の花鳥を主題とした《熱国妍春》、《燦雨》を描いて文展・帝展で2年連続の特選を受賞、注目を集めた。

光瑠は、早くから伊藤若冲に関心を持ち、大正14年（1925）には若冲の代表作《仙人掌群鶏図襖》（西福寺蔵、重要文化財）を発見、雑誌に紹介した。また、狩野派をはじめ広く古画を学習し、制作にも活かした。

本展は、生誕140年の節目に、光瑠の生まれ故郷にある南砺市立福光美術館（富山県）のコレクションを中心に、初期から晩年までの代表作を一堂公開し、光瑠の画業の全貌を紹介する全国初の大規模回顧展として開催した。通常非公開の高野山金剛峯寺奥殿襖絵20面を含め、光瑠の色彩豊かな画業を幅広くご覧いただいた。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 画学修業と登山

《虫類写生》1896～1903年 京都市立芸術大学



「生誕140年記念 石崎光瑠」ちらし

芸術資料館

《筧》1914年 南砺市立福光美術館

第2章 インドへの旅、新しい日本画へ

《熱国妍春》1918年 京都国立近代美術館

《燦雨》1919年 南砺市立福光美術館

《白孔雀》1922年 大阪中之島美術館

第3章 深まる絵画表現

《鶏之図（若冲の模写）》1926年 富山市郷土博物館

奥殿襖絵《雪嶺》1935年 金剛峯寺

第4章 静謐なる境地へ

《霜月》1938年 東京藝術大学

【出品作品数】

82点、資料14点

【関連行事】

（1）講演会「石崎光瑠 魅力、再発見」

講 師：植田彩芳子

日 時：2024年9月21日（土）午前10時30分～12時

会 場：3階フィルムシアター

参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要

参加者：92名

（2）座談会「深掘り！石崎光瑠を語り尽くす」

登壇者：渡邊一美氏（南砺市立福光美術館元副館長）、川邊紫

音氏（南砺市立福光美術館学芸員）、松井菜摘氏（京都市立芸術大学芸術資料館学芸員）、植田彩芳子

日 時：2024年9月29日（日）午前10時30分～12時

会 場：3階フィルムシアター

参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要

参加者：80名

(3) 特別対談「光瑠×若冲 その魅力を語る」

出演：澤田瞳子氏（小説家）、植田彩芳子

日時：2024年10月6日（日）午後2時～午後3時30分

会場：別館ホール

参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要

参加者：162名

(4) ワークショップ「深掘り！鑑賞ワークショップ」

概要：ワークシートを用いて、担当学芸員の説明のもと、作品を鑑賞。※ナイトミュージアム関連事業

担当：植田彩芳子

日時：2024年10月9日（水）午後6時30分～午後7時30分

会場：4階・3階展示室

参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要

参加者：22名

(5) コラボギャラリートーク「京都府立植物園×石崎光瑠」

講師：京都府立植物園職員、植田彩芳子

日時：2024年10月4日（金）、10月18日（金） 各日午後2時～

会場：4階・3階展示室

参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る

参加者：68名（10月4日）、67名（10月18日）

(6) 学芸員によるギャラリートーク

日時：2024年10月10日（木）、10月24日（木） 各日午後2時～

会場：4階・3階展示室

参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る

参加者：67名（10月10日）、60名（10月24日）

(7) 学芸員によるナイトギャラリートーク

※ナイトミュージアム関連事業

日時：2024年10月4日（金）、10月11日（金）、10月18日（金） 各日午後6時30分～

会場：4階・3階展示室

参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る

参加者：42名（10月4日）、67名（10月11日）、38名（10月18日）

(8) 同時通訳付!!Englishナイトギャラリートーク

概要：ギャラリートークに英語の逐次通訳を付けて、実施。※ナイトミュージアム関連事業

講師：植田彩芳子

日時：2024年10月16日（水）、10月30日（水） 各日午後6時～

会場：4階・3階展示室

参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る

参加者：22名（10月16日）、30名（10月30日）

④ 日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展

会期：2024年11月23日（土・祝）～2025年2月2日（日）〔56日／72日〕

開室時間：午前10時～午後6時まで

※金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日の場合は開館、翌日休館）、12月28日（土）～1月3日（金）

会場：京都文化博物館 4階・3階展示室

入場料：一般1,600円（1,400円）、大高生1,000円（800円）、中小生500円（300円）

※（ ）内は前売券、および20名以上の団体料金

主催：京都府、京都文化博物館、中国文物交流中心、毎日新聞社、京都新聞、MBSテレビ

共催：京都市

後援：外務省、中国人民対外友好協会、中国大使館、（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

企画協力：黄山美術社

企画：東京富士美術館

担当者：佐藤稜介、山崎頼人

入場者：90,830人（1日平均1,622.0人）



「日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展」
ちらし

【概要】

東洋と西洋を結ぶシルクロードは、古代から重要な交流、通商のルートであり、多様な民族が興亡した文化融合の地である。人々は、草原や砂漠、雪山を越え、

時には命をかけてここを往来し、この壮大な「旅路」は、人類の歴史においても重要な役割を果たしてきた。

わが国でのシルクロードに対するイメージは、特に半世紀程前のテレビ番組の印象が深く、砂漠やオアシスの情景に彩られた悠久の旅路に、多くの人が憧れを抱くようになった。学術的にも、奈良の正倉院に伝わる宝物の故地として、ペルシアや中央アジア、ひいてはギリシア・ローマに続くシルクロードの交易路が注目され、文化交流の歴史が研究されてきた。

そして、近年では、2014年に、交易路としてのシルクロードが、ユネスコの世界遺産に認定された（「シルクロード：長安―天山回廊の交易路網」）。中国では再びシルクロードへの関心が高まり、中国内外での学術研究の進展は、我々に新しい発見を届けてくれた。

本展覧会は、この世界遺産認定後、中国国外で初めて行われる大規模なシルクロード展であり、日中友好の懸け橋として比類ない価値を有するものであった。西安、洛陽、蘭州、敦煌、新疆地域など、中国国内27ヶ所の博物館と研究機関から集められたシルクロードの名宝194点は、人類の叡智の結晶とも称すべき逸品であった。とりわけ、わが国の国宝に相当する国家一級文物44点の展観は圧巻であり、多くの来館者に驚きと感動をもって鑑賞された。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 民族往来の舞台 ――胡人の活動とオアシスの遺宝

一級文物《瑪瑙象嵌杯》 5～7世紀 イリ州博物館

一級文物《マニ教ソグド語の手紙》 11世紀初

め トルファン博物館

一級文物《唐花文錦鞋》 唐・8世紀 新疆ウイグル自治区博物館

第2章 東西文明の融合 ――響き合う漢と胡の輝き《車馬儀仗隊》 後漢・1～3世紀 甘肅省博物館

一級文物《鳳首杯》 唐・8世紀 陝西歴史博物館

一級文物《獻馬図》 唐・乾封元年（666）昭陵博物館

第3章 仏教東漸の遙かな旅 ――眠りから覚めた経典と祈りの造形

一級文物《妙法蓮華経巻第一 断簡》 北朝・5～6世紀 敦煌研究院

《如来像 壁画》 7～8世紀 新疆ウイグル自治区博物館

一級文物《菩薩坐像》 唐・7～8世紀 龍門石窟研究院

【出品作品数】

194件（うち国家一級文物：44点）

【関連行事】

（1）記念講演会「シルクロードと正倉院」

講師：内藤 栄氏（大阪市立美術館館長）

日時：2024年12月21日（土）午前10時30分～12時

会場：3階フィルムシアター

参加費：無料

※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要

参加者：125名

⑤ Kyoto Art for Tomorrow2025―京都府新鋭選抜展―

会期：2024年12月21日（土）～2025年1月13日（月・祝）〔15日／24日〕

開室時間：5階展示室 午前10時から午後6時まで
※金曜日は午後7時30分まで（入室は閉室の30分前まで）
別館ホール 午前10時から午後7時30分まで

休館日：月曜日（ただし、1月13日は開館）、12月28日（土）～1月3日（金）

会場：京都文化博物館 5階展示室および別館ホール
入場料：一般500円（400円）、大学生400円（320円）、高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

主催：京都府、京都文化博物館

後援：経済産業省、文化庁、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

担当者：林 智子

入場者：25,637人（1日平均1,709.1人）

【選考委員】

後藤結美子（京都市京セラ美術館 学芸課 学芸係長）、島 敦彦（国立国際美術館 館長）、平芳幸浩（京都工芸繊維大学 教授）、福永 治（京都国立近代美術館 館長）、吉岡恵美子（京都精華大学 副学長）
（五十音順）

【審査委員】

後藤結美子（京都市京セラ美術館 学芸課 学芸係長）、島 敦彦（国立国際美術館 館長）、平芳幸浩（京都工芸繊維大学 教授）、福永 治（京都国立近代美術館 館長）、吉岡恵美子（京都精華大学 副学長）
（五十音順）

【概 要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介する展覧会であり、展覧会として、60年以上にわたる長い歴史を有している。本年は、130名を超える推薦作家から選考委員により選抜された才能あふれる若手作家40名の作品を展示した。別館ホールでは、特別出品として、Kyoto Art for Tomorrow2024で最優秀賞を受賞した高瀬栞菜氏による「とおくてちかくて、はなれてかみあう」を紹介した。

【出品作家】

赤坂侑花、秋山愛夏、東 慎也、石場文子、岩崎萌森、上田 愛、上田なごみ、榎本貫之介、大澤一太、岡本里栄、河嶋菜々、来田広大、小西景子、小宮太郎、坂本大地、清水佑季、詹 凱婷、高橋果歩、武雄文子、立花 光、土屋咲瑛、中嶋純花、丹生あさ、野津果音、野原万里絵、則松夏凜、HABURI、蛭田美保子、藤野裕美子、堀 花圭、前田あかね、松本ことみ、的野哲子、森川彩夏、八木佑介、山口遼太郎、山里奈津実、山田真実、山部杏奈、王 木易（五十音順）

【特別出品作家】

高瀬栞菜 「とおくてちかくて、はなれてかみあう」
1994年生まれ
2020年京都市立芸術大学大学院美術研究科
絵画専攻修士課程修了
2020年高瀬栞菜個展 まひるののこりもの
（ギャラリーモーニング／京都）
2021年高瀬栞菜個展 Walk in a tale（京都岡崎葛屋書店）
黒崎香織・高瀬栞菜二人展 Enclosed
mythology



「Kyoto Art for Tomorrow2025－京都府新鋭選抜展－」チラシ

（Artist-in-Residence 賀茂なす／京都）

2022年 ARTISTS' FAIR KYOTO 2022（京都文化博物館別館）

ART FAIR TOKYO 2022（東京国際フォーラム）

長谷川由貴・高瀬栞菜二人展 変/心
（TENSHADAI／京都）

グループ展 色の言ノ葉（新宿高島屋美術画廊／東京）

グループ展 BEING AND TIME（Powerlong Art Center／上海、中国）

グループ展 (un) fair2023（SUPERSTUDIO MAXI／ミラノ、イタリア）

2023年高瀬栞菜個展 ほしにためいき（イムラアートギャラリー／京都）

2024年 Kyoto Art for Tomorrow 2024 京都府新鋭選抜展最優秀賞

高瀬栞菜個展 へたなくちぶえがきこえる
（SHUTL／東京）

天牛美矢子・高瀬栞菜二人展 道端のボトルメール（COHJU／京都）

グループ展 Emotional Garden（Mozuku Gallery／台湾）

【出品作品数】

40点および特別出品1点

【関連行事】

（1）特別展示作家によるスペシャルトーク

日 時：2024年12月21日（土）午後2時～

会 場：別館ホール

参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る

参加人数：37名

(2) 出品作家によるギャラリートーク

日時：2024年12月22日（日）、2025年1月5日（日）両日
とも午後2時～

会場：5階展示会場内

講師：展覧会出品作家8名（12月22日）、15名（1月5日）

参加費：無料 ※当日の入場者に限る

参加者数：27名（12月22日）、53名（1月5日）

⑥ カナレットとヴェネツィアの輝き

会期：2025年2月15日（土）～4月13日（日）

〔50日／58日〕

開室時間：午前10時～午後6時まで

※金曜日は午後7時30分まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日の場合は開館、翌日休館）

会場：京都文化博物館 4階・3階展示室

入場料：一般1,800円（1,600円）、大高生1,200円
（1,000円）、中小生600円（400円）

※（ ）内は前売券、および20名以上の団体料金

※「春休み こども無料ウィーク」（3月22～30日）の期
間中、小中高生は無料

主催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、MBS
テレビ、スコットランド国立美術館

後援：駐日イタリア大使館、ブリティッシュ・カウ
ンシル、（公社）京都府観光連盟、（公社）京
都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

協賛：DNP大日本印刷、大和ハウス工業

特別協力：イタリア文化会館—大阪

協力：日本航空、日本貨物航空、箱根ガラスの森美
術館、ITAエアウェイズ

監修：クリストファー・ベイカー（エディンバラ大学
教授、ザ・バーリントン・マガジン編集長）
千足伸行（成城大学名誉教授、広島県立美術
館館長）

担当者：清水智世

入場者：29,150人（1日平均583.0人）

【概要】

ヴェドゥータの巨匠・カナレット（1697～1768）。彼の生きた18世紀、ヴェネツィアを訪れたイギリスの貴族たちが旅の記念にと争うように買い求めたのが、カナレットの描くヴェドゥータ（景観画）である。輝く水面に整然とした建築物、祝祭的な雰囲気など、ヴェネツィアに対する理想的なイメージは、雄大さと緻密さを併せ持つカナレットのヴェドゥータを通して定着していった。

本展は、ヴェドゥータの巨匠・カナレットの全貌を紹



「カナレットとヴェネツィアの輝き」
ちらし

介する、日本初の展覧会として開催した。カナレットが描く壮麗なヴェネツィアの景観を通して、ヴェドゥータというジャンルの成立過程をたどるとともに、カナレットとは異なる眼差しでヴェネツィアを捉えた19世紀の画家たちの作品も併せてご紹介することで、一時代を生きた画家カナレットのヴェドゥータを、より広い時間と空間の中でとらえることを目指した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 カナレット以前のヴェネツィア

- ・フランチェスコ・グアルディに帰属《ヴェネツィア鳥瞰図》1775年、英国政府コレクション
- ・ジョヴァンニ・バッティスタ・ティエポロ《アントニウスとクレオパトラの出会い》1747年頃、スコットランド国立美術館

第2章 カナレットのヴェドゥータ

- ・カナレット《カナル・グランデのレガッタ》1730～1739年頃、ボウズ美術館、ダラム
- ・カナレット《モーロ河岸、聖テオドルスの柱を右に西を望む》1738年頃、スフォルツァ城絵画館、ミラノ
- ・カナレット《昇天祭、モーロ河岸のブチントーロ》1760年、ダリッジ美術館、ロンドン

第3章 カナレットの版画と素描—創造の周辺

- ・カナレット《ドーロ風景》1740～1744年、ヴィ

クトリア・アンド・アルバート博物館、ロンドン
 ・カナレット《サン・マルコ大聖堂の内部》1766年頃、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、ロンドン

第4章 同時代の画家たち、後継者たち—カナレットに連なる系譜の展開

- ・ベルナルド・ベロット《ルッカ、サン・マルティエーノ広場》1742～1746年、ヨーク・ミュージアム・トラスト（ヨーク美術館）
- ・フランチェスコ・グアルディ《サンタ・マリア・デッラ・サルテテ聖堂》1770年頃、スコットランド国立美術館
- ・ウィリアム・マーロー《カプリッチョ：セント・ポール大聖堂とヴェネツィアの運河》1795年頃、テート

第5章 カナレットの遺産

- ・ジェイムズ・アボット・マクニール・ホイッスラー《ノクターン：青と金色—サン・マルコ大聖堂、ヴェネツィア》1880年、ウェールズ国立美術館、カーディフ
- ・ウジェーヌ・ブーダン《カナル・グランデ、ヴェネツィア》1895年、東京富士美術館
- ・クロード・モネ《パラッツォ・ダーリオ、ヴェネツィア》1908年、ウェールズ国立美術館、カーディフ

【出品作品数】

59件

【関連行事】

(1) 講演会「ヴェネツィアの都市空間とその描き方の変遷」

講師：陣内秀信氏（法政大学名誉教授）
 日時：2025年2月15日（土）午前10時30分～12時
 会場：3階フィルムシアター
 参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要
 参加者：136名

(2) ワークショップ「カメラ・オブスキュラを作ろう」

講師：植田憲司氏（京都経済短期大学専任講師）
 日時：2025年3月22日（土）午後2時～4時
 場所：3階やすらぎコーナーほか
 参加費：1,000円（材料代として）※その他、本展入場券（半券可）が必要
 参加者：13名

(3) 関連映画上映

映画：『MOLECOLE』2020年、イタリア
 監督：アンドレア・セグレ
 日時：2025年3月15日（土）午後1時30分～午後3時
 場所：3階フィルムシアター
 参加費：無料 ※ただし本展覧会入場券（半券可）が必要
 参加者：190名

●上映後にイタリア文化会館—大阪館長アンドレア・ラオス氏のアフタートークを実施

(4) 学芸員によるギャラリートーク

日時：2025年2月21日（金）、3月7日（金）、3月27日（木）
 各日午後2時～
 会場：4・3階展示室
 参加費：無料 ※ただし当日の入場者に限る
 参加者：各52名（2月21日）、53名（3月7日）、34名（3月27日）

2024(令和6)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
松尾大社展 みやこの西の守護神	2024年4月27日～6月23日	51	14,053	275	共催
日本の巨大ロボット群像 —鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫—	2024年7月6日～9月1日	51	35,919	704	共催
生誕140年記念 石崎光瑤	2024年9月14日～11月10日	50	27,741	554	共催
日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展	2024年11月23日～2025年2月2日	56	90,830	1,622	共催
Kyoto Art for Tomorrow 2025—京都府新鋭選抜展—	2024年12月21日～2025年1月13日	15	25,637	1,709	委託
カナレットとヴェネツィアの輝き	2025年2月15日～4月13日	50	29,150	583	共催
計6件					

Ⅲ-3 映画

1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日数	回数	鑑賞者
2024.4.2～5.9	【生誕100年記念】映画女優淡島千景特集	『自由学校』『麦秋』『命美わし』『本日休診』『お茶漬の味』『カルメン純情す』『君の名は 第一部』『君の名は 第二部』『君の名は 第三部』『にこりえ』『夫婦善哉』『早春』『日本橋』『黄色いからす』『螢火』『駅前旅館』『暗夜行路』	34	68	3,095
2024.5.10～5.31	映画に見る平安時代	『虎の尾を踏む男達』『羅生門』『源氏物語』『地獄門』『山椒大夫』『新平家物語』『美女と怪龍』『源氏物語 浮舟』『新源氏物語』『恋や恋すな恋』	19	38	1,716
2024.6.1～6.2	feature in sound 大野松雄の仕事	『アトム足音が聞こえる』『裸の島』『めもりい』『ゼロの発見』『土くれ 木内克の芸術』『猫の散歩』『世界は恐怖する死の灰の正体』	2	6	157
2024.6.4～6.30	社会派サスペンス映画劇場	『ペン偽らず 暴力の街』『叛乱』『黒い潮』『張込み』『黒い画集 あるサラリーマンの証言』『ゼロの焦点』『真昼の暗黒』『黒の試走車』『白と黒』『帝銀事件 死刑囚』『証人の椅子』『白い巨塔』	24	48	2,625
2024.7.2～7.31	熱狂！チャンバラ・スターの時代 甦る伝説の六剣聖	チャンバラ断片集①『雲母坂』『弁天小僧』『清水次郎長外傳 森の石松』『槍供養』チャンバラ断片集②『仇討選手』『磯の源太 抱腹の長脇差』『怪盗白頭巾 前篇』『大菩薩峠 第二篇(鈴鹿山の巻、壬生と島原の巻)』『右門捕物帖 三番手柄』『黒手組 助六』『男達ばやり』『雪之丞変化(総集編)』『丹下左衛門 助六』『男達ばやり』『雪之丞変化(総集編)』『丹下左衛門 助六』『百万両の壺』『血煙高田の馬場』『宝の山に入る退屈男』『柳生二蓋笠』『江戸の悪太郎』『牢獄の花嫁』『春秋一刀流』『剣光櫻吹雪』	24	48	1,544
2024.7.16～7.17、7.24	祇園祭記念特別上映	『祇園祭』	3	6	466
2024.8.2～8.4 *8月1日は準備日のため休映	第30回京都国際子ども映画祭	『僕とアーシャの不思議な旅』『窓ぎわのトットちゃん』『ミツバチと私』『ロイドの要心無用』『夢のカレシマ』『コブおばさんの思い出レンタルショップ』『親愛なるマリーへ』『私が生きる世界』『忘れがたみ』『イード・ムバラク』『ヘアースタイル』『ランチョボックス』『イルカはフラダンスを踊るらしい』	3	10	727
2024.8.6～9.5	特撮魂！—映画職人の夢と汗	『波川伴五郎』『狂った一頁』『ハワイ・マレー沖海戦』『加藤隼 戦闘隊』『有馬猫』『ゴジラ』『笛吹童子 第一部どくろの旗』『笛吹童子 第二部妖術の闘争』『笛吹童子 第三部満月城の凱歌』『女と海賊』『怪談果が淵』『釈迦』『太平洋奇跡の作戦 キスカ』『大魔神』『怪談』	25	50	2,260
2024.8.16～8.17	【特別展「日本の巨大ロボット群像」関連企画】ロボットアニメの熱さと絆—ガールパワーと熱血ロボット—	『サクラ大戦 活動写真』『プロメア』	2	4	300
2024.9.6～9.8	日本映像学会関西支部第44回夏期映画ゼミナール 特集 日本の女性映画人—結髪、美粧、記録、編集、美術、脚本、監督—	『春琴抄 お琴と佐助』『雪夫人絵図』『黒い画集 あるサラリーマンの証言』『愛と希望の街』『この広い空のどこかに』『恋文』	3	6	470
2024.9.10～9.23	【没後20年】水上勉の世界を描く	『飢餓海峡』『雁の寺』『越前竹人形』『五番町夕霧楼』『越後つづいし親不知』『湖の琴』『はなれ瞽女おりん』	13	26	1666
2024.9.25～10.6	映画撮影監督 吉田貞次を偲ぶ ～七回忌追悼上映	『血槍富士』『妖刀物語 花の吉原百人斬り』『この首一万石』『宮本武蔵 一乗寺の決斗』『宮本武蔵 巖流島の決斗』『暴れん坊街道』『仁義なき戦い』	11	22	1053
2024.10.8～11.8	生誕100年 高峰秀子 銀幕に生きる	『東京の合唱』『花籠の歌』『綴方教室』『樋口一葉』『馬』『細雪』『稲妻』『カルメン純情す』『雁』『女の園』『浮雲』『喜びも悲しみも幾歳月』『二十四の瞳』『名もなく貧しく美しく』『永遠の人』	28	56	3092
2024.11.9～11.17	びあフィルムフェスティバル in 京都2024	『HIGH-SCHOOL-TERROR』『UNK』『カラオケ喫茶ボサ』『Lighthouse』『流れる』『アスタースクールデイズ』『莓のジャムとマーガリン』『帰路』『正しい家族の付き合い方』『これらが全て Fantasy だったあの頃。』『END of DINOSAURS』『サンライズ』『チューリップちゃん』『ちあきの変拍子』『I AM NOT INVISIBLE』『わたしのゆくえ』『Into a Landscape』『分離の予感』『あなたの代わりにあなた展』『よそのくに』『季節のない愛』『秋の風吹く』『Into a Landscape』『分離の予感』『あなたの代わりにあなた展』『Single8』『嵐電』『蛇の道』『蜘蛛の瞳』『灼熱のドッジボール』『走るぜ』『親不孝通り』『TWO TRAINS RUNNIN』『運命じゃない人』『寮内厳粛』『月島狂奏』『正門前行』『逃亡者狂騒曲』『道行き』『アイスリンク』『さよならビーチ』『鎖』『さようならイカロス』『松坂さん』	8	20	779
2024.11.19～12.1	コメディアンに至芸 ～喜劇映画特集	『人生のお荷物』『エノケンのちゃつきり金太』『お父さんはお人好し』『二等兵物語』『幕末太陽傳』『競輪上人行状記』	12	23	860

2024.11.23	【京都ヒストリカ国際映画祭ブレ企画】 平安時代とアニメーション ～時代を越えるミレニアムアニメーション～	TVアニメ『平家物語』第1話、第2話、第3話	1	1	80
2024.12.3～12.8	第16回 京都ヒストリカ国際映画祭	『待タイムスリッパ』『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・カリビアン』『農民』『大江戸の侠児』『人情紙風船』『グローリア!』『七人の侍』『碁盤斬り』『スウィート・ドリームス』『夏の嵐』『せかいのおきく』『山中貞雄に捧げる漫画映画』『鼠小僧次郎吉』『サバイバル忍者』『私の誕生日』『SHOGUN 将軍』（第一話、第二話）』『雪の花ーともに在りてー』『黒の牛』	6	20	1,056
2024.12.10～12.27	悩み躰く偉人達	『無憂華 九条武子夫人』『藤十郎の恋』『鶴八鶴次郎』『王将』『われ幻の魚を見たり』『獅子の座』『女優』	13	26	872
2024.12.13～12.15日	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館	『日本橋』『斬る』『拳銃と目玉焼き』『怪奇!! 幽霊スナック殴り込み!』『待タイムスリッパ（スペシャルロング版）』『近松門左衛門 鍵の権三』	3	6	360
2025.1.4～2.24	映画と小説の密な関係 - 文芸映画特集	『金色夜叉』『春琴抄 お琴と佐助』『妻よ薔薇のやうに』『泣蟲小僧』『お遊さま』『めし』『妻』『夜明け前』『春琴物語』『晩菊』『山の音』『こころ』『流れる』『挽歌』『雪国』『火宅の人』『暗夜行路』『濃東綺譚』『肉体の門』『三婆』	40	79	4,741
2025.2.6～2.9	第27回京都国際学生映画祭	『ボウルミーツガール』『恍惚的眼前』『Dissonance』『REDMAN』『생일선물』『Heirloom』『Vortex』『새들의 언덕』『Searching for Sol』『Au 8ème Jour / On the 8th Day』『누가 내 배낭을 훔쳐갔는가』『Stabat Mater』『にわとりはじめてとやにつく』『음어오아』『Chaehwa』『BOY MEETS HOME』『殺し屋』『落第はしたけれど』（活弁、ピアノ伴奏付き上映）『I AM NOT INVISIBLE』『秋の風吹く』『EDMOND』『La Culp, probablement』『Ri Guang Zhi Xia』『LOST UTOPIA』『GO GO まりこ』『BLUE GIANT』『Black Box』『Perspective』『Flicker』『最低』	4	15	534
2025.2.14	MPTE AWARDS 2024 第77回映像技術賞「映像技術賞作品を見る会&トークイベント」	『おまえの罪を白しろ』『FNN Live News イット! 岸田首相襲撃・爆発の現場（ニュース番組）』『ケの日のケケケ』（テレビドラマ）』『ゴッドハンド 流転の秘宝を復元せよ』（ドキュメンタリー番組）	1	2	117
2025.2.23	京都映画賞授賞式と受賞作品上映	『碁盤斬り』*昼の部の上映のみ	1	1	130
2025.2.26～3.9	メキシコ映画の大回顧	『パンチョ・ビリャと進め』『誰の女でもない』『エナモラダ』『港の女』『犯罪者の手』『忘れられた人々』『制服の処女』『街娼』『あぶない二人』『ロス・カイファネス』『黄金の鶏』	11	22	1,140
2025.3.11～3.19	映画俳優が監督になる時ー島耕二、山村聡、佐分利信、そして田中絹代	『次郎物語』『蟹工船』『叛乱』『恋文』	8	15	557
2025.3.15	「カナレットとヴェネツィアの輝き」展開連続上映	『MOLECOLE～分子～』	1	1	190
2025.3.20～4.29	【京の歴史展示エリアー新記念】「日本のハリウッド・京都」撮影所特集	『羅生門』『忠臣蔵』『弥次喜多 善光寺詣り』『快人狼（前・後篇）』『からくり蝶』『赤西囃太』	10	19	570
2025.3.22	キヤウト コタンー京都でふれるアイヌ文化記念上映	『ハツカネズミが酒をつくったーエトウチケレ サケカラ ハンキリキリー』『神の山にのぼった男ーカムイヌプリ カエパクルー』『カラスの会話ーパンクルウコイタクー』『ニタイバカイエ』	1	1	60

2) 特別企画・共催事業

① 2024年度外部共催上映等の実績

◆feature in sound 大野松雄の仕事

期 間：2024年6月1日～2日

共 催：Brand new day

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『アトム足音が聞こえる』『裸の島』『世界は恐怖する死の灰の正体』『めもりい』『ゼロの発見』『土くれ 木内克の芸術』『猫の散歩』の上映と富永昌敬監督の講演。

鑑賞者数：157人（79人／1日）

◆第30回京都国際子ども映画祭

期 間：2024年8月2日～4日

共 催：キンダーフィルムフェストきょうと

会 場：3階フィルムシアター

内 容：世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞

作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行った。『僕とアーシャの不思議な旅』『窓ぎわのトットちゃん』『ミツパチと私』『ロイドの要心無用』等13作品を上映。

鑑賞者数：727人（242人／1日）

◆第46回びあフィルムフェスティバルin京都2024

期 間：2024年11月9日～17日

主 催：一般社団法人PFF（びあフィルムフェスティバル）

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『HIGH-SCHOOL-TERROR』『UNK』『カラオケ喫茶ボサ』『Lighthouse』『流れる』『アスタースクールデイズ』『苺のジャムとマーガリン』『帰路』等41作品の上映と受賞監督のトーク。

鑑賞者数：779人（97人／1日）

◆【京都ヒストリカ国際映画祭プレ企画】平安時代とアニメーション

期 間：2024年11月23日

共 催：立命館大学映像学部

会 場：3階フィルムシアター

内 容：TVアニメ『平家物語』第1話、第2話、第3話の上映と琵琶の演奏。

鑑賞者数：80人（80人／1日）

◆第16回京都ヒストリカ国際映画祭

期 間：2024年12月3日～8日

主 催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会（京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学）

共 催：KYOTO CMEX実行委員会

会 場：3階フィルムシアター、6階展示室

内 容：『侍タイムスリッパ』『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・カリビアン』『農民』『人情紙風船』『碁盤斬り』『夏の嵐』『せかいのおきく』『山中貞雄に捧げる漫画映画「鼠小僧次郎吉」』『SHOGUN 将軍』（第1・2話）等17作品の上映と丸山正雄、大地丙太郎、りんたろう、白石和彌、阪本順治、小泉堯史、レイ・フィゲロア等のトーク。

鑑賞者数：1,056人（176人／1日）

◆京まちなか映画祭 in 京都文化博物館

期 間：2024年12月13日～15日

主 催：京まちなか映画祭実行委員会

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『拳銃と目玉焼き』『怪奇！！幽霊スナック 殴り込み！』『侍タイムスリッパ（スペシャルロング版）』の上映と安田淳一、バンヒロシらのトーク。

鑑賞者数：360人（120人／1日）

◆第27回京都国際学生映画祭

期 間：2025年2月6日～9日

共 催：公益財団法人大学コンソーシアム京都

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『ボウルミーツガール』『恍惚的眼前』『Dissonance』『GO GO まりこ』『Heirloom』『Vortex』『Stabat Mater』『Searching for Sol』『REDMAN』『BLUE GIANT』等29作品の上映と入選監督と審査員のトーク。

鑑賞者数：534人（134人／1日）

◆京都映画賞授賞式と受賞作品上映

期 間：2025年2月23日

共 催：京都市

会 場：3階フィルムシアター

内 容：受賞作『碁盤斬り』の上映と京都映画賞受賞者の表彰式。

鑑賞者数：130人（130人／1日）

◆メキシコ映画の大回顧

期 間：2025年2月26日～3月9日

共 催：国立映画アーカイブ、メキシコ国立自治大学フィルモテカ、メキシコ・シネテカ・ナシオナル、メキシコ映画機構

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『パンチョ・ビリャと進め』『誰の女でもない』『エナモラーダ』『港の女』『犯罪者の手』『忘れられた人々』『制服の処女』『街娼』『あぶない二人』『ロス・カイファネス』『黄金の鶏』の上映と池元慎、大傍正規のトーク。

鑑賞者数：1,140人（104人／1日）

◆キャウトコタンー京都でふれるアイヌ文化記念上映

期 間：2025年3月22日

共 催：国立アイヌ民族博物館

会場：3階フィルムシアター
内容：『ハツカネズミが酒をつくったーエトウチケレ サケカラ ハンキリキリー』『神の山にのぼった男ーカムイヌプリ カエパクル

ー』『カラスの会話ーパシクル ウコイタクー』『ニタイパカイェ』の上映と内田祐一のトーク。

鑑賞者数：60人（60人／1日）

② 映画製作者・研究者・専門家向け育成・普及事業

◆日本映像学会関西支部第44回夏期映画ゼミナール 日本の女性映画人

期間：2024年9月6日～8日
共催：日本映像学会関西支部
会場：3階フィルムシアター
内容：『春琴抄 お琴と佐助』『雪夫人絵図』『黒い画集 あるサラリーマンの証言』『愛と希望の街』『この広い空のどこかに』『恋文』の上映とトーク。
鑑賞者数：470人（157人／1日）

◆映画撮影監督吉田貞次を偲ぶ～七回忌追悼上映

期間：2024年9月25日～10月6日
共催：日本映画撮影監督協会
会場：3階フィルムシアター
内容：『血槍富士』『妖刀物語 花の吉原百人斬り』『この首一万石』『宮本武蔵 一乗寺の決斗』『宮本武蔵 巖流島の決斗』『暴れん坊街道』『仁義なき戦い』の上映と浜田毅、芹澤明子、森脇清隆によるトーク。
鑑賞者数：3,092人（110人／1日）

◆第17回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2024)

期間：2024年12月6日～8日
主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会（京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学）
共催：第37回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館ー大阪、KYOTO CMEX実行委員会
協力：京都クロスメディア推進戦略拠点
会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館
内容：世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を

製作する合宿形式のワークショップ（公用語：英語）。Web公募の結果、ラボとマスターズセッション含め377名（アルゼンチン、オーストラリア、バングラデシュ、ベルギー、ブラジル、ブルガリア、カンボジア、カナダ、コロンビア、クロアチア、エストニア、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、カザフスタン、マレーシア、ネパール、パキスタン、パナマ、トルコ、ポーランド、プエルトリコ、シンガポール、スペイン、スウェーデン、フィリピン、タイ、イギリス、アメリカ合衆国、ベトナム、韓国、中国、日本）の応募から時代劇製作には21名が参加となった。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人（東映）、高橋剣（東映）、永島聡（松竹）監修の時代劇製作ワークショップを開催。

参加人数：21名

◆京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

期間：2024年12月9日～11日
主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会（京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学）
共催：第34回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館ー大阪、KYOTO CMEX実行委員会
協力：京都クロスメディア推進戦略拠点
会場：3階フィルムシアター、6階展示室、旧武徳殿
内容：京都フィルムメーカーズラボ参加者＋マスターズセッション参加者（17名）、アニメ作品『鼠小僧次郎吉』の上映とりんたろう、丸山正雄のトーク、『せかいのおきく』の上映と阪本順治のトーク、宮川絵里子（『SHOGUN』プロデューサー）、ヴァレ

ンティーナ・ベローモ（ヴェネツィア・ビエンナーレBCCディレクター）、クリスティアン・フィリップピ等による講演。

鑑賞者数：767名人（257人／1日）

◆日本映画テレビ技術協会「映像技術賞作品を見る会 & トークイベント」

期 間：2025年2月14日

共 催：日本映画テレビ技術協会

会 場：3階フィルムシアター

内 容：『おまえの罪を自白しろ』『FNN Live News イット！岸田首相襲撃・爆発の現場』『ケの日のケケケ』『ゴッドハンド 流転の秘宝を復元せよ』の上映と受賞監督のトーク。

鑑賞者数：117人（117人／1日）

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50

点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2024年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2024.4.2～5.9	【生誕100年記念】映画女優淡島千景特集
2024.5.10～5.31	映画に見る平安時代
2024.6.1～6.2	feature in sound 大野松雄の仕事
2024.6.4～6.30	社会派サスペンス映画劇場
2024.7.2～7.31	熱狂！チャンバラ・スターの時代 甦る伝説の六剣聖
2024.7.16～7.24	祇園祭記念特別上映
2024.8.2～8.4	第30回京都国際子ども映画祭
2024.8.6～9.5	特撮魂！映画職人の夢と汗
2024.9.6～9.8	日本映像学会関西支部第44回夏期映画ゼミナール 特集 日本の女性映画人 一結髪、美粧、記録、編集、美術、脚本、監督一
2024.9.10～9.23	【没後20年】水上勉の世界を描く
2024.9.25～10.6	映画撮影監督吉田貞次を偲ぶ ～七回忌追悼上映
2024.10.8～11.8	生誕100年 高峰秀子 銀幕に生きる
2024.11.9～11.17	ぴあフィルムフェスティバル in 京都2024
2024.11.19～12.1	コメディアンに至芸 ～喜劇映画特集
2024.11.23	【京都ヒストリカ国際映画祭プレ企画】 平安時代とアニメーション～時代を越えるミレニアムアニメーション～
2024.12.3～12.8	第16回京都ヒストリカ国際映画祭
2024.12.10～12.27	悩み蹟く偉人達
2024.12.13～12.15	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館
2025.1.4～2.24	映画と小説の密な関係 - 文芸映画特集
2025.2.6～2.9	第27回京都国際学生映画祭
2025.2.26～3.9	メキシコ映画の大回顧
2025.3.11～3.19	映画俳優が監督になる時 - 島耕二、山村聡、佐分利信、そして田中絹代
2025.3.20～4.29	【京の歴史展示エリア一新記念】「日本のハリウッド・京都」撮影所特集

映画事業担当者：森脇清隆、大矢敦子、肥山紗智子

Ⅲ - 4 京都学・歴彩館における展示

①「林康夫・坪井明日香展－前衛表現の気概－」

会 期：令和6年4月13日（土）～6月9日（日）
〔52日間〕

休館日：第2水曜日、祝日

開室時間：（平日）午前9時～午後6時
（土日）午前9時～午後5時

会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室

入場料：無料

主 催：京都文化博物館、京都府立京都学・歴彩館

担当者：洲鎌佐智子

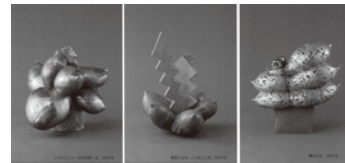
入場者：1,392名（1日平均26.8名）

【概 要】

林康夫は1928年に京都に生まれ、1947年には前衛的な陶芸研究グループ四耕会の創設メンバーとして参加し、1948年にいち早く前衛的陶芸作品《雲》を発表した。その後は、焼き締めによるシンプルなオブジェ陶を経て、錯視効果による二次元と三次元が複雑に交差する立体造形の作品群を発表していき、近年では箱型の「寓舎」のシリーズを手掛けている。

坪井明日香は1932年に大阪に生まれ、1953年に京都で作陶を始める。1957年には女性陶芸家だけの「女流陶芸」を結成し、女性陶芸家のパイオニアとして広く知られるようになり、江戸時代の京焼の特徴を独自に取り込み、柔らかく、豊穡なオブジェ陶を次々と発表していった。

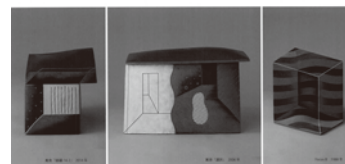
本展は、林康夫、坪井明日香の二人の京都を代表する前衛陶芸家の作品が、京都府へ寄贈されたことを記念して開催された。



林康夫・坪井明日香 展

—前衛表現の気概—

2024年 4月13日(土) - 6月9日(日)



「林康夫・坪井明日香展－前衛表現の気概－」ちらし

【主な出品作品】

林康夫《寓舎「選択」》2006年、《Focus B》1988年
坪井明日香《メタモルファーゼの世界・女》2016年、
《化身と道化》2009年

【出品作品数】

27件

【関連行事】

(1) 学芸員によるギャラリートーク

日 時：2024年4月25日（木）、5月16日（木）、5月30日（木）
午後2時30分～

会 場：1階展示室

担 当：洲鎌佐智子

参加者：32名（4月25日）、8名（5月16日）、9名（5月30日）

②「没後100年 今尾景年展－精緻なる花鳥画－」

会 期：2025年1月11日（土）～3月9日（日）
〔52日/58日〕

休館日：第2水曜、祝日

開室時間：（平日）午前9時～午後6時
（土日）午前9時～午後5時

会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・
歴彩館

担当者：植田彩芳子

入場者：4,052名（1日平均76.45名）

【概 要】

京都画壇の大家である今尾景年（1845～1924）が没してから、100年が経った。景年は明治から大正にかけて活躍した有力画家で、写生に基づいた鮮やかで緻密な花鳥画を多く描き、国内外の博覧会などで高い評価を得た。京都府画学校の嘱託教授、帝室技芸員、

文展開設時の審査員なども務め、門下には近年関心の高まっている木島櫻谷などもいる。

昭和49年（1974）に京都府立総合資料館で回顧展が開催されて以来、景年の回顧展は実に50年ぶりとなる。本展では、代表作《群芳百蟲図（四時花木群蟲図）》をはじめとした絵画作品や、景年が絵付けをした工芸品、資料によりその画業を紹介した。

【主な出品作品】

今尾景年《写生帳》1870～85年、今尾景年《群芳百蟲図（四時花木群蟲図）》1885年、今尾景年《貝づくし》1907年、今尾景年《秋野群鶉図》1912年

【出品作品数】

42件

【関連行事】

（1）学芸員によるギャラリートーク

日 時：2025年1月30日（木）、2月27日（木）、3月6日（木）
午後2時30分～

場 所：1階展示室

会 場：植田 彩芳子

参加者数：79名（1月30日）、111名（2月27日）、87名（3月6日）



「没後100年 今尾景年展—精緻なる花鳥画—」ちらし

IV 調査研究活動

IV-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 橋本章 ・京の和食文化に関する研究
植田彩芳子 ・近代京都絵画研究～花鳥画家及び渡欧画家を中心に～（2）
西山剛 ・寛永3年（1626）後水尾天皇の二条城行幸に関する文化史的考察
佐藤稜介 ・戦国期における京都・山城地域の政治権力に関する研究3
畑智子 ・知られざる儒学者・三國幽眠

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 山崎頼人 ・国際共同研究強化（B）課題番号22KK0009『弥生・古墳時代併行期における日韓年代論の再構築と対外交渉の実証的研究』研究協力者
林智子 ・真宗東派本願寺所蔵染織品調査（主催：千總文化研究所）
清水智世 ・「戦時下における京都の前衛画家に関する研究―北脇昇と小牧源太郎を中心に―」鹿島美術財団

2) 出講・委嘱

- 洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議委員
・滋賀県文化審議会委員
・京都国立近代美術館令和6年度第1回、第2回美術作品購入評価員
・令和6年度京都国立博物館買取・寄贈評価委員
・令和6年度京都市美術館美術品等評価会議委員
・滋賀県立陶芸の森陶芸作品収集審査会委員
・甲賀市指定無形文化財陶芸保持者認定検討委員会委員
・愛知県陶磁美術館資料評価委員
・令和6年度兵庫県陶芸美術館収集評価委員
・第35回工芸美術創工会展審査員
・第24回福知山市佐藤太清賞公募美術展審査員
森脇清隆 ・京都府太秦フェスティバル実行委員（副実行委員長）
・京都府デジタルミュージメントアワード審査委員
・KYOTO Cross Media Experience 実行委員
・京都市コンテンツ産業振興に向けた有識者懇談会委員
・京都ヒストリカ国際映画祭実行委員
・京都国際学生映画祭企画検討委員

- 橋本章 ・京都祇園祭の山鉾行事歴史資料調査事業委員
・祇園祭山鉾装飾品等審議委員会委員
・久御山町旧山田家住宅保存活用計画検討委員会委員
・日本民俗学会第34期理事・評議員
山崎頼人 ・佐賀県土生遺跡調査委員会委員
植田彩芳子 ・滋賀県立美術館協議会専門委員〔収藏品収集審査部会〕
・『美術フォーラム21』編集委員
・第11回菅楯彦大賞推薦委員
・東山魁夷日経日本画大賞推薦委員
西山剛 ・東京大学史料編纂所 共同研究員
・世界人権問題研究センター 登録研究員
・北野天満宮北野文化研究所 特別研究員
林智子 ・祇園祭山鉾装飾品等専門委員
大矢敦子 ・芸術文化振興基金運営委員会映画祭等専門委員会専門委員
・「日本映画の海外発信事業（海外映画祭への出品等支援事業）」企画案選定委員
・立命館大学衣笠総合研究機構アート・リサーチセンター客員協力研究員

3) 業績

① 論文・著作

森脇清隆 ・「“時代劇”の学術的評価に係る調査報告書」監修・あとがき、京都府、2025年3月21日

橋本章 ・「室町幕府將軍足利義晴の祇園祭巡行見物に際し提供された料理献立の研究」(共著)
京都文化博物館研究紀要『朱雀』第37集 2025年3月

山崎頼人 ・「『世界遺産 大シルクロード展』を振り返る」『文化財レポート』No.38 2025年3月
・「京都御苑(公家町遺跡)出土の黒曜石製石器」『同志社大学歴史資料館 館報』第27号 2025年2月
・「近畿地方における朝鮮半島系土器研究の現状と課題～主に無文土器(粘土帯土器)を対象として～」
京都文化博物館研究紀要『朱雀』第37集 2025年3月

・「朝鮮半島系土器の移動・交流からわかること」『シンポジウム根塚遺跡、再び 東と西から奥信濃の弥生時代を問い直す 記録集』2025年3月

植田彩芳子 ・「都路華香筆 良夜」『國華』第1544号、2024年6月
・「洋画家における日本画―太田喜二郎の場合」『美術フォーラム21』第50号、2024年12月

西山 剛 ・『輿をかつぐ人びと 駕輿丁・力者・輿舁の社会史』(思文閣出版、2024年12月)
・「書評 下坂守著『祇園祭千五十年記念 中近世祇園社の研究』」(『日本史研究』743号、2024年7月)
・「デジタルアーカイブで広がる寺社史料の可能性―菅公御神忌1125年半萬燈祭に際する『北野文叢』のデータベース公開」(野口淳・村野正景編『博物館DXと次世代考古学』、雄山閣、2024年9月)
・「芸能史研究における絵画史料論の前提」(『藝能史研究』246号、2025年1月)

林 智子 ・資料紹介「草花文様小袖」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第37集/2025年3月)

清水智世 ・「戦時下の『前衛画家』たち」(高階絵里加・竹内幸絵編『芸術と社会』森話社、2025年1月)

・「京都とシュルレアリスム」(『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本 連続講演記録集) 京都文化博物館・板橋区立美術館・三重県立美術館、2025年1月)

・「『前衛絵画』と京都と戦争―『集団制作』という実験」(『美術京都』56号、2025年3月)

・「画家・井澤元一と京都―『作品ノート』からたどる「京都の洋画」の一側面②」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第37集/2025年3月)

佐藤稜介 ・図録『松尾大社展 みやこの西の守護神』(京都文化博物館・朝日新聞社/2024年4月) 編集・執筆(コラム・解説)

・「世界遺産 大シルクロード展 色あせぬ憧憬の文化」(毎日新聞/2024年11月19日)

・「戦国期室町幕府と京都の寺社」(『ヒストリア』第307号/2024年12月)

・「京都文化次世代データセンター(仮称)事業における近赤外線透過光撮影―古代学協会本『大内裏図考証』表紙裏反古の『集古十種』―」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第37集/2025年3月)

② 発表・講演

森脇清隆 ・「ジャパン・コンテンツの悠久と先端～京都で学ぶ映画～」講演、大学コンソーシアム京都、2024年11月9日

・「ヒストリカ・スペシャル『山中貞雄に捧げる漫画映画「鼠小僧次郎吉」』上映&丸山正雄トーク」コーディネーター、京都文化博物館、2024年12月6日
・「時代劇の無形文化財登録に向けた学術調査について」講演、京都府メディアパーク研究会、2025年2

月28日

橋本章 ・「場所に刻まれた記憶を読む―明治時代における豊臣秀吉の再神格化を事例に―」歴史地理学会第67回大会公開講演会 2024年5月25日(土)

・「五節句と日本の文化」高知県立高知城歴史博物館 令和6年度城博講座(日本の文化講座)2024年6月22日(土)

・「祇園祭山鉦巡行(後祭)観覧講座」公益財団法人祇

- 園祭山鉾連合会 2024年7月24日(水)
- ・「祇園祭、祇園地域の歴史」日本銀行京都支店講座 2024年11月13日(水)
 - ・「長刀鉾と長刀鉾町について～歴史資料と伝説伝承の検討から～」第13回長刀鉾勉強会 2025年2月17日(月)
 - ・「巨椋池と旧山田家住宅～久御山の生活文化について～」久御山町講座 2025年3月30日(日)
- 山崎頼人** ・「無文土器と弥生土器からみた日韓交流～用語の整理と各地域における土器の変容過程～」第15回九州考古学会・嶺南考古学会 合同考古学大会 於：福岡大学 2024年8月25日
- ・「御原郡の古代官道～小郡市松崎六本木遺跡の調査から～」七隈史学会第26回大会 於：福岡大学 2024年9月29日
 - ・「朝鮮半島系土器の移動・交流からわかること」『シンポジウム根塚遺跡、再び』西日本篇 2024年11月30日 於：木島平村若者センター
 - ・「シンポジウム 先進事例から見る建築に関わる多様なデジタルアーカイブの取組とその活用」『近代建築WEEK2024—三条通の近代洋風建築群—デジタル技術の多様な活用—』2024年12月6日
 - ・「北部九州の高地性集落2—集落動態・生業からみた弥生時代の北部九州—」『高地性集落—日本海沿岸地域を中心として—令和6年度環日本海文化交流史調査研究集会資料』公益財団法人石川県埋蔵文化財センター 2025年2月13・14日
 - ・「筑後地域における弥生後期の集落と墓制」『弥生後期の集落と墓制—有明海沿岸を中心に—吉野ヶ里学シンポジウム2025』吉野ヶ里学研究会 2025年2月22日
 - ・「佐賀県における無文土器からみた日韓交流～特に環有明海に着目して～」九州古文化研究会第203回例会 2025年2月23日 於：北九州市埋蔵文化財センター

- 植田彩芳子** ・「土田麦僊周辺の日本画家とフランス美術—1921～23年の渡欧を中心に」国際シンポジウム フランス近代美術と京都(於：京都工芸繊維大学)、2024年12月22日
- 西山 剛** ・「博物館における3Dデータ活用の工夫とその効果 京都文化博物館の事例」(次世代考古学研究センター・セミナーシリーズ第3回「3D考古学の最前線」、公立小松大学、2024年7月)
- ・「千本の赤」の造形(MANGA「千本の赤」PROJECT 第3回学習会、ツラッティ千本、2024年8月3日)
 - ・「河原巻物が語ること」(京都市立芸術大学世界人権問題研究センター、2024年9月)
- 清水智世** ・「戦時下における京都の前衛画家に関する研究—北脇昇と小牧源太郎を中心に」(公益財団法人鹿島美術財団/2024年5月14日)
- ・「京都とシュルレアリスム」(三重県立美術館/2024年5月18日)
 - ・「京都の前衛芸術について」(神奈川大学非文字資料研究センター/2024年7月20日)
 - ・「青楓洋画塾の活動」(笛吹市教育委員会/2025年1月18日)
- 佐藤稜介** ・「戦国期室町幕府と京都の寺社」(2024年度大阪歴史学会大会 中世史部会/2024年6月30日)
- ・「シルクロード 悠久の歴史に迫る 「世界遺産 大シルクロード展」に寄せて」(佛教大学オープンラーニングセンター 京都新聞総合研究所提携講座「アートサロン」/2024年12月9日)

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第37集】

発行：京都文化博物館

発行日：2025年3月31日

印刷：株式会社ITP

体裁：A4版、84ページ

編集担当：洲鎌 佐智子

所載記事：

[論考]

- ・橋本 章・小川航典・東 祥太郎
將軍足利義晴の祇園祭見物に際し提供された料理の研究

[研究ノート]

- ・清水智世
画家・井澤元一と京都
—『作品ノート』からたどる「京都の洋画」の一側面②
- ・山崎頼人

近畿地方における朝鮮半島系土器研究の現状と課題

～主に無文土器（粘土帯土器）を対象として～

- ・千種佳奈
鶴澤探山の修行期について
—鶴澤探山「諸画卷」と「雑画卷」を中心に
- ・佐藤稜介
京都文化次世代データセンター（仮称）事業における近赤外線透過光撮影
—古代学協会本『大内裏図考証』表紙裏反古の『集古十種』—

[資料紹介]

- ・林 智子
資料紹介「草花文様小袖」
- ・西山 剛
新出「河原巻物」（個人蔵）の紹介と翻刻

2) 年報

【京都文化博物館2023(令和5)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2024年9月30日

印刷：株式会社ITP

体裁：A4版、67ページ

編集担当：畑 智子、菅原有香

3) 展覧会図録

【令和6年度京都文化博物館総合展示「三國幽眠—勤王漢学者と京都」】

編集：畑 智子

漢詩漢文 監修：伊藤宗裕

発行：京都文化博物館

デザイン：谷 浩志

体裁：A4版、48ページ

発行日：2024年4月13日

発行：京都文化博物館、朝日新聞社

体裁：B5変形版、189ページ

発行日：2024年4月27日

【生誕140年記念 石崎光瑤】

編集・執筆：植田彩芳子、川邊紫音、渡邊一美、石上 充代、金光 隆

翻訳：クリストファー・スティヴンズ

デザイン：坂本佳子（大向デザイン事務所）

発行：毎日新聞社

印刷・製本：日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社

【松尾大社 みやこの西の守護神】

企画編集：京都文化博物館

デザイン・印刷：株式会社ライブアートブックス

体裁：B 5 版、256ページ
発行日：2024年 7 月13日

【Kyoto Art for Tomorrow 2025－京都府新鋭選抜展－】

編集・発行：京都府、京都文化博物館
体裁：A 4 版、40ページ
発行日：2025年 1 月

【2024年度 京都文化博物館 総合展示 鶴澤派探求 －朝廷御用絵師の要－】

編集：京都文化博物館
制作：ニューカラー写真印刷株式会社
発行：京都文化博物館
体裁：A 4 版、56ページ
発行日：2024年 1 月30日

V-2 音楽会

開催日	タイトル	参加者数
7/15 (月・祝)	祝 ユネスコ無形文化遺産登録 みんなでたのしむ風流踊	計450人
10/17 (木)	「秋の夜長の月待ちコンサート」	計300人
10/18 (金)	リクエスト公演！祝 ユネスコ無形文化遺産登録「風流踊と秋の宵」	計270人

V-3 京都アート・クラフトマーケット

コロナ禍の収束に加えインバウンドの拡大が予想されたため、出店ブース数を増やした。来場者数は昨年より減少したが、インバウンド拡大の影響で外国人の

来場・購入が多く、売り上げは前年度を大きく上回った。(7,635⇒10,168 (千円))

【京都アート・クラフトマーケット】

	開催日	出展数	入場者数
京都アート・クラフトマーケット2024	2024年10月12日 (土)～10月14日 (月・祝)	84ブース	22,847名

V-4 学習普及外部連携室

1) ボランティア

2025年 3 月31日現在 (2024年度)、73名のボランティアスタッフが活動している。2階総合展示室内における来館者案内や見回りを行った。日本語39名、英語27名、その他の外国語7名が朝9時45分から夜7時30分までの間、3交代制で活動を行っている。

ボランティアは、2階総合展示の開始にあわせて設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営を含めた総合的なレクチャーを受けている。

2) 生き方探究チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。令和6年度は以下の学校の生徒を受け入れた。

- ・京都市立京都御池中学校 2024年5月28日（火）～5月31日（金） 4日間 2名

- ・京都市立七条中学校 2024年6月4日（火）～6月7日（金） 4日間 2名

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2024年度の来館件数は105件であった。このうち解説を行ったのは、36件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが

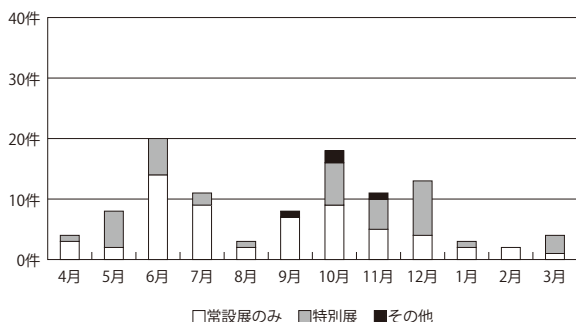
多く、全体の7割を占めるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も少なくない。学校の区分では大学が一番多く、高校、小学校、中学校がつづく。

本年度は、10月、6月、12月の団体申し込みが多かった。

2024年度団体見学案内

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	110	226	730	489	53	256	833	255	673	98	63	69	3855
来館件数	4	8	20	11	3	8	18	11	13	3	2	4	105
解説件数	0	3	12	2	0	3	7	2	4	2	1	0	36

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	12
中学校	11
高校	15
専門学校	1
大学	31
支援学校	1
一般	34
合計	105

V-5 博物館実習

【実施期間】

2024年8月19日（月）～8月23日（金）までの5日間

【実習生】

神戸大学	1名
大谷大学	1名
高知大学	1名
大阪大学	1名
京都芸術大学	1名
八洲学園大学	1名
成安造形大学	1名
京都精華大学	1名
立命館大学	1名
京都産業大学	1名（計10名）

【実習内容／担当者】

- ・博物館の活動について（概説）／洲鎌佐智子
- ・館内見学（施設）／清水智世
- ・美術資料の取り扱いについて／植田彩芳子、清水智世
- ・歴史資料の取り扱いについて／西山 剛、佐藤稜介
- ・博物館における情報リテラシー／上村茉莉絵
- ・考古資料の取り扱いについて／山崎頼人
- ・民俗資料の取り扱いについて／橋本 章
- ・美術工芸品の取り扱いについて／洲鎌佐智子
- ・映像資料の取り扱いについて／森脇清隆、大矢敦子
- ・染織資料の取り扱いについて／林 智子
- ・学習普及と地域連携について／佐藤稜介、清水智世、上村茉莉絵

V-6 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本87,388冊、逐次刊行物3,261タイトル（85,031冊）を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が36,156冊、展覧会図録が17,587冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書

資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は1,625件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が143冊、展覧会図録が372冊、年報・紀要類が252冊であった。

2) 広報

チラシ・ポスターの制作をはじめ、ホームページやSNS、新聞・フリーペーパー等の紙媒体、交通広告等、様々な媒体を使用し情報を発信している。広報媒体の特性をうまく使い分けて当館の情報に触れる機会を増やし、来館につなげられるよう今後も努めたい。

【2024年度の実績】

- ・各特別展および総合展示（前期・後期）のチラシ・ポスター制作、DM発送
- ・ホームページ随時更新

- ・SNS（X [旧Twitter]、Facebook、Instagram [日本語版・英語版]、YouTube）での情報発信
- ・烏丸御池駅・京橋駅に看板掲出、京都市地下鉄ドア横に広告掲出（年間契約分）
- ・館周辺の看板制作
- ・その他、展覧会ごとに有効な媒体を検討し広報している。

V-7 外部連携活動

1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力および館運営にかかる情報交換を円滑にする目的で、京都市内4館連携協力協議会（「京都ミュージアムズ・フォー」）が2009年6月12日に発足した。2024年度は学芸・事務の合同部会を1回、学芸部会を1回、3月に全体会議を開催した。また、以下の連携事業を実施した。

- ・京都ミュージアムズ・フォー連携講座の実施（年間5回）
- ・4館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施
- ・スタンプラリーの実施（実施期間：10月1日～11月30日）
- ・秋の特別展にて4館相互割引の実施

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

（関西の美術館・博物館、約400施設が参加）

2024年度は関西文化の日（2024年11月16日・17日）を「総合展示入場無料」とした。総合展示入場者は、1,169人であった。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2024」への参加】

今年度は、関西の2府4県（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）の美術館・博物館で構成する合計44施設が参加した。

当館は利用者に総合展示無料（1回）および特別展団体料金扱い（1回）の特典を付与し、併せて館内でぐるっとパスの冊子を販売した。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校と連携授業を実施した。学芸員の館内講座を通じて文化財に生徒が触れ、観察し

た。また京都府内の高等学校と連携し、2階総合展示「京都府内の学校所在資料展3」を実施した。

3) 地域との連携

① 京都文化博物館地域協働事業 博学社連携の新たな仕組み創造事業

令和6年度文化芸術振興費補助金（Innovate MUSEUM事業）の補助を受け「京都文化博物館地域協働事業 博学社連携の新たな仕組み創造事業」を展開し、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市学校歴史博物館、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、千總文化研究所、京都古文化保存協会、京都市生涯学習総合センターと連携して（1）地域文化マネジメント・プロデュース型人材の育成、

（2）データストック事業、（3）データオープン化事業を行った。

（1）地域文化マネジメント・プロデュース型人材の育成

3Dによる資料のデジタル化の専門家を招いた講習会やAIによる古文書解読技術の専門家との協業によるデジタル化した資料の活用についての研修会を開催して技術の更なる習得と研鑽に努めた。

○地域定例会（月1回、実行委員会と地域の方々と

の定例会、毎回10名程度参加)

- 若手推進会議(月1回、地域に居住・就労する30～40代の若手5名程度が毎回参加)
- モダン建築全国有数の密集地・三条通の近代建築オーナーズ会議(2024年10月8日、6名参加)
- 3Dデジタルデータの制作についての講習会・実技研修会(2024年12月15日、2025年1月12日、2025年1月25日)
- デジタル化された資料の活用についての講習会・実技研修会(2024年12月3日、19名参加)
- 三条通デジタルマップについての講習会・実技研修会(2025年1月11日)

(2) データストック事業

中核館のデータセンター機能を活用して連携を組む各館の資料の高精細撮影を実施し、博物館が収蔵する地域資料や企業が持つ資料1,033件について都合27,100カットの撮影を行った。特にこれまで世に出ることのなかった日記や文献資料をデジタルデータ化し、その一部について文化遺産オンラインを活用して公開した。また資料の翻刻を進めてそのデータについて汎用データベース機能を用いて公開しオープン化を実践した。

- データストックに関する先進事例の調査(豊田市

博物館)

- 地域資料データストック(京都文化博物館)(日記20冊、総カット数8,606、14日間)
- 地域資料データストック(京都市歴史資料館)(日記54点、総カット数14,351、2024年8月～12月)
- 地域資料データストック(一般社団法人千總文化研究所)(資料959点、総カット数4,143)

(3) データオープン化事業

5回のワークショップを通じて広く一般の方々にデジタル技術を活用した新しい資料の公開方法を提案し、またデジタル技術の多様な活用に関するシンポジウムを開催して、文化資源の活用による地域課題の解決に向けた方途を探るため研究者や専門家と共にディスカッションを行い、一般の参加者からも意見のフィードバックを得た。事業全体としては人材の育成と博物館資料のデジタル化の充実、そして事業目的の普及啓発に効果があった。

- 地域デジタルデータの展示活用のためのワークショップ(2024年12月14日、21日、26日、2025年1月5日、1月19日)
- 地域デジタルデータの展示活用に関するシンポジウム(2024年12月6日)

② 美術館・博物館の夜間活用による新たな価値創出事業(文化庁Innovate MUSEUM事業)

京都市京セラ美術館を中核館に公益社団法人関西経済連合会、関西電力株式会社、滋賀県立美術館、西日本旅客鉄道株式会社と連携し、ナイトミュージアムKANSAI実行委員会を設立。令和6年度文化芸術振興費補助金(Innovate MUSEUM事業)の補助を受け、美術館・博物館の夜間活用を通じた新たな価値創出を目指し、各館において夜間開館やナイトタイムイベント等を実施した。当館においては展覧会(「巨大ロボッ

ト群像」(生誕140年記念 石崎光瑠))において、毎週水曜日・金曜日の開館時間を延長した。また、インバウンドを意識した同時通訳付きナイトギャラリートークをはじめ、座談会、鑑賞ワークショップ等を実施し、あわせて別館ホールで夜のコンサートや六斎念仏の披露を行うなど、様々な夜間文化体験の機会を提供した。

③ 【「きものの似合うまち・京都」推進事業「京都きものパスポート」(京都府共催)への協力】

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて2020年より休止となっていた本事業だが、冊子で発行していたパスポートをWEBに移行して2023年より再開となった。当館は特典提供施設として、2024年10月1

日～12月25日の期間、きもの姿で「きものパスポート」を提示した方に、総合展示無料、特別展団体料金適用の特典を提供した。

V-8 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ方々に、年間を通して京都文化博物館を楽しんでいた

だくことを目的とし、会員への特典や情報の提供を行っている。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証の提示により特別展・総合展示（映画鑑賞含む）の無料での鑑賞（B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金）
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引（B会員は同伴者1名まで）
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引および京都府立堂本印象美術館の割引

【会員の概要】

友の会会員は、特別展、総合展示を何度でも鑑賞できるA会員、2名以上で入会するグループ会員、総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員の三つの区分に分け運営を行っている。

前年度に比べA会員、グループ会員、B会員の全ての会員区分で増加した。今後も魅力のあるサービスの提供を行い、高齢者だけでなく若い世代の新規会員獲得を目指すとともに、翌年度以降も継続して加入してもらえるよう、友の会の活動内容の充実とサービスの向上を図りたい。

【会 費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員（2名以上） 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

①会員数(近年の推移)

	(単位：名)		
	2024年度	2023年度	2022年度
A会員	317	291	309
グループ会員	120	95	100
B会員	236	219	225
計	673	605	634

②新規加入

	(単位：名)
A会員	102
グループ会員	48
B会員	105
計	255

③住所分布

	(単位：名)
京都市内	446
京都府内	51
近畿圏内	147
その他の府県	29

③-2 近畿圏内の内訳

大阪府	95
兵庫県	29
滋賀県	14
奈良県	8
和歌山県	1
計	147

2) 事業概要

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を毎月発行。

【文化講座】

特別展「生誕140年記念 石崎光瑠」関連イベント特別対談「光瑠×若冲 その魅力を語る」(10月6日(日)開催)に参加枠を設定。

参加者：6名

V-9 文化財保護基金室

公益財団法人京都文化財団では、京都文化博物館内に文化財保護基金室をおき、文化財の保護、啓発に努めている。

1) 貸付け事業

社寺建造物、美術品等文化財の保全に必要な修理事業などに長期、低利の文化財保護資金貸付事業を行っている。令和6年度は、新規貸付はなかった。

2) 文化財保護に関するよろず相談

文化財の保存修理等に関して所有者が抱える様々な問題に対処するため、指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象とした文化財保護

のよろず相談窓口を京都文化博物館ホームページ上に開設した。相談件数は一件。

3) 文化財保護の啓発普及

①「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート」第38号を1500部発行した。

② 公益財団法人京都古文化保存協会主催「第61回小中学生記者の文化財取材コンクール」への事業協力(共催)

文化財保護の次世代を担う小学生・中学生を対象に、取材を通して文化財への関心を深め、愛護の精神を養うことを目的として開催する本事業に共催し、取材コンクールの会場として、京都文化博物館を提供し、学芸員の仕事の紹介やバックヤードの見学などに協力した。また博物館内でコンクールの授賞式を開催し、3名に京都文化財団賞を授与した。

「京都文化財団賞受賞者」

〈記事の部〉

京都市立松原中学校3年 大野樹璃さん

〈写真の部〉

京都市立松原中学校2年 八巻 叶さん

〈はがき新聞の部〉

京都市立御所南小学校6年 西出ももねさん

V-10 「福寿園・お茶の文化賞」

株式会社福寿園名誉会長・故福井正典氏の遺志を受け継ぎ、21世紀に京都からお茶にまつわる文化芸術がより多彩により根強く日本や世界に波及していくことを願って2021年度に「福寿園・お茶の文化賞」を創設。お茶の文化賞選考委員会（2024年1月30日）による選考を経て、第3回福寿園・お茶の文化賞を授与した。

授賞式：2024年6月11日（火）午前11時～

場 所：京都文化博物館 6階和室

受賞者：

大 賞 株式会社丸利吉田銘茶園 園主
吉田利一

※本簾覆下製法・手もみ技術等宇治茶の伝統的な生産技術の継承に努め、また、日本最古の茶園・高山寺茶園の管理保存に貢献。

奨励賞 株式会社虎屋 特別理事・虎屋文庫主席研究員
中山圭子

※和菓子の研究普及に努める第一人者。講演や執筆等を通じ、お茶の魅力を引き出す食文化の発信が期待される。

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

絵画、彫刻、工芸、書、デザイン、写真、華道の作家として活発な創作活動をしている方々の展覧の場としての利用や、府民をはじめ広く一般の方々の文化芸

術活動の発表の場としての利用、京物の紹介を目的とした展示会、見本市、内見会等、文化芸術活動の展示公開の場を提供している。

1) 美術・工芸作家の利用

開館以来5階展示室および6階展示室（1997年7月）より美術・工芸作家が利用できる場を設けており、利用は府内に活動の本拠を持つ作家および府内にゆかりのある作家としている。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンル

で、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2024年度の利用件数は、27件であった。

作家利用一覧

会期	展覧会名	分野
2024 4.9～ 4.14	第50回 京都春季創画展	日本画
4.19～ 4.21	第32回 祐門会 京都能面展	諸工芸（能面）
4.17～ 4.21	第48回 日本画春季光玄展	日本画
4.19～ 4.21	第36回 面風會展一能面・狂言面	諸工芸（能面）
5.24～ 5.26	第43回 辛酉会書展	書
6.25～ 6.30	第77回 京都丹平写真展	写真
6.27～ 6.30	第17回 京都創造藝術協會展	美術工芸総合
7.3～ 7.7	2024京都日本画家協会 第10期展	日本画
7.10～ 7.16	芦田英次 NEO リアリズム写真展「無惨やな」	写真
7.24～ 7.28	第19回 京都現代写真作家展 受賞者記念展 Kyoto Present Age	写真
7.24～ 7.28	第29回 ファインド・アイズ京都 現代・文人光画展	写真
8.14～ 8.18	佐々木省庵・さち子漆芸展	工芸（漆）
8.14～ 8.18	第42回 六轡会篆刻作品展	書（篆刻）
8.28～ 9.1	塊原社展	彫刻
11.20～ 11.24	かつらぎ会書展	書
11.27～ 12.1	第35回記念 工芸美術 創工会展	工芸総合
11.19～ 11.24	卒寿記念 杭迫柏樹展	書
11.29～ 12.1	山野井珠几書画個展 （同時開催）第10回書道教室塾展 あげぼの書展	書
2025 1.29～ 2.2	京の名工展	工芸総合
2.20～ 2.23	水明書道会 第18回 墨聚展	書
2.22～ 2.24	2024年度 京都橘大学 卒業制作展（書）	書
3.5～ 3.9	第一美術 サムホール展	洋画
3.19～ 3.23	第68回 あまがつ会人形展	諸工芸
3.20～ 3.23	第45回 京都現代書芸展	書
3.25～ 3.30	伊砂利彦生誕百年記念 継一伊砂利彦と沖繩展	染織
3.26～ 3.30	書 三月の会展	書
3.26～ 3.30	第32回 新日美京都支部展	美術工芸総合

計 27件（128日間）28,765名

*昇降機設備（エレベーター1、2、3号機）更新および改修工事のため、2024年9月3日（火）から11月13日（水）の間、休室とした。

作家利用分野別件数・入場者数一覧

	美術						工芸				美術工芸総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	工芸(漆)	諸工芸	工芸総合		
使用件数	3	1	9	4	1	0	1	1	3	2	2	27
割合 (%)	11%	4%	33%	15%	4%	0%	4%	4%	11%	7%	7%	100%
入場者数	5,409	348	9,805	3,726	753	0	1,006	269	1,640	4,638	1,171	28,765
1件平均入場者数	1,803	348	1,089	932	753	0	1,006	0	547	2,319	586	1,065

*諸工芸には、能面・人形を含む。

2) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室および京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・諸工芸各1名)、書2名(仮名・漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の

使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2024年度の委員会は以下のとおり開催した。

展示室運営委員会

委員会開催日	審議対象期間	件数
2024年6月27日	2024年12月～2025年3月	10
2024年11月7日	2025年4月～2025年7月	12
2025年3月4日	2025年8月～2025年11月	9

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用期間に準ず

る期間として、美術・工芸作家および技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

生涯学習利用展覧会別入場者数一覧

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2024 4.3～4.7	'24写人展	写真	376
	4.4～4.7	瓜生山 墨の會 百花繚乱 其の壱	(美術) 総合	385
	4.4～4.7	能の扇の世界 ～華麗で繊細な江戸時代の中啓を復元～	諸工芸	332
	5.7～5.12	江南詩情 一現代中国水墨画名家展一 (7日:開会式・内覧会)	日本画	304
	5.16～5.19	第35回 中藤益子画伯とその仲間たち	日本画	441
	5.17～5.19	愛の讃歌 成宮薫堂遺作展	書	307
	5.17～5.19	劉徳華 絵画 篆刻作品 京都展	(美術) 総合	152
	5.29～6.2	湯浅三郎 回顧展 「描くということ」	諸工芸	393
	6.6～6.9	第57回 心象書展	書	1,280
	6.14～6.16	第十四回 佳趣会書展	書	760
	6.18～6.23	生誕100年 古谷蒼韻展	書	3,300
	6.27～6.30	第28回 小さな世界・ジュエリー アトリエ・ド・ウー教室展	その他	315
	7.9～7.16	倪瑞良「切り絵・ミュシャの世界」展	諸工芸	1,031
	8.1～8.4	《十人十色 百煌百好》栄美子 戸田ローブとニューゼファーズ キルト展	諸工芸	851
	8.21～8.25	第12回 ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	389
	8.22～8.25	京都大学写真部OB 京都展	写真	356
	8.23～8.25	第41回 龍雲会書展	書	467

	9.15	大垣書店 サイン会	その他	408
	11.15 ~ 11.17	第61回 仏教美術展	(美術) 総合	1,919
2025	1.17 ~ 1.26	第37回 京都美術文化賞 受賞記念展<22日休室>	美術工芸総合	1,678
	2.7 ~ 2.9	令和6年度 SKYふれあい作品展・シルバー美術展	(美術) 総合	1,774
	2.13 ~ 2.16	京都工芸繊維大学 卒業・修了研究展2025 (デザイン・建築学課程 卒業研究展)	(美術) 総合	1,923
	2.28 ~ 3.2	第38回 全国シルバー書道展 京都展	書	542
	3.5 ~ 3.9	第24回 福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術) 総合	515
計24件 使用日数：103日				20,198

*昇降機設備(エレベーター1.2.3号機)更新および改修工事のため、2024年9月3日(火)から11月13日(水)の間、休室とした。

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数
6階	2024	4.13 風楽和<華>コンサート Vol.12 地歌から現代邦楽	その他	70
	4.20 ~ 4.21	華道遠州 いけばな展	(美術) 総合	490
	4.23	体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	110
	4.24	体験学習 (舞妓鑑賞・狂言WS)	その他	220
	5.22	体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	145
	5.24	体験学習 (清水焼作陶)	その他	71
	6.2	保昌山見送り披露 (内覧会)	その他	30
	6.8	京都文博 嘶の会Vol.26 玉川太福 独演会	その他	70
	6.23	文化書道 錬成会	書	90
	7.14	京都府高文連小倉百人一首 かるた専門部 競技かるた練習会	その他	78
	7.17	体験学習 (舞妓鑑賞)	その他	128
	7.18	体験学習 (落語鑑賞)	その他	225
	8.2 ~ 8.4	第二十五回 片山家能楽・京舞保存財団所蔵 能装束・能面展 ~継承の美~	(工芸) 総合	1,254
	8.7	文化芸術絵画コンクール入賞作品展 in 京都	(美術) 総合	145
	8.10 ~ 8.11	第40回 文化書道近畿連合会展	書	570
	8.24	京都文博 嘶の会Vol.27 笑福亭松喬 独演会	その他	200
	11.29 ~ 12.1	第10回 書道教室塾展 あけぼの書展	書	677
	12.8	ヒストリカX	その他	100
	12.11 ~ 12.13	京都のインナーメーカーの卒業者が織りなす作品展 (創作の楽しみ方)	(美術) 総合	314
	12.14	京都文博 嘶の会Vol.28 笑福亭たま 独演会	その他	183
	12.21 ~ 12.22	第二回 花都の會 書展	書	700
	2025	1.12 令和七年 知ふみ書道 新春書初展	書	241
	1.18 ~ 1.19	第17回 いづみ会書展	書	463
	1.25 ~ 1.26	立命館大学書道部 56期生卒部展「爛漫」	書	165
	2.13 ~ 2.16	京都工芸繊維大学 卒業・修了研究展2025 (大学院デザイン学専攻 修了研究展)	(美術) 総合	1,588
	3.2	華道 御幸遠州流展 2025 風雅	(美術) 総合	436
	3.14 ~ 3.16	2024年度 アルスシムラ卒業制作展	染織/染色	490
	3.19	中国現代国画 京都特別展	(美術) 総合	278
	3.22 ~ 3.23	第53回 京都女流京華会 いけばな展	(美術) 総合	994
計29件 使用日数：46日				10,525

*昇降機設備(エレベーター1.2.3号機)更新および改修工事のため、2024年9月3日(火)から11月13日(水)の間、休室とした。

生涯学習利用分野別件数・入場者数

	和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5 階	件数	—	2	—	6	2	2	6	18	—	—	5	—	5	1	24
	日数	—	10	—	22	9	5	22	68	—	—	26	—	26	9	103
	人数	—	745	—	6,656	732	723	6,668	15,524	—	—	2,996	—	2,996	1,678	20,198
6 階	件数	—	—	—	7	—	13	7	27	1	—	—	1	2	—	29
	日数	—	—	—	13	—	13	14	40	3	—	—	3	6	—	46
	人数	—	—	—	2,906	—	1,630	4,245	8,781	490	—	—	1,254	1,744	—	10,525

※6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会等。

※「(美術)総合」に絵画、華道含む。

*昇降機設備(エレベーター1、2、3号機)更新および改修工事のため、2024年9月3日(火)から11月13日(水)の間、休室とした。

4) 一般の利用

5階展示室および6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

一般利用分野別件数・入場者数

	和装呉服	染織	美術	工芸	その他	小計
5 階	件数	1	—	1	1	4
	日数	2	—	3	2	10
	人数	150	—	1,691	183	1,986
6 階	件数	10	1	—	1	12
	日数	20	5	—	4	29
	人数	1,400	474	—	172	—

※美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

※昇降機設備(エレベーター1、2、3号機)更新および改修工事のため、2024年9月3日(火)から11月13日(水)の間、休室とした。

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の展示や関連イベント、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業

催事からファッションショーまで様々な催事の利用に供している。

近年は、卒業制作展やKYOTOGRAPHIEなどの大型展覧会の開催により新たな客層の賑わいが生まれており、ホールの利用に合わせたサブイベントとして、講義室やウッドデッキの利用も増えている。

【別館利用状況一覧】

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
4.1 ~ 4.14	【ろうじ西北スペース】博和会(宇治観光土産品組合@ぶんぱく)	5.18 ~ 5.19	【三条ウッドデッキ】ぶんぱくアートマルシェ
4.3	『鍵盤の広がり アレンジの魅力をあなたに』in KYOTO	5.23	洗練された情熱ギターと弦楽四重奏が奏でる スペイン情緒あふれるクラシック音楽作品
4.5	京都フィルハーモニー室内合奏団 第263回 定期公演B 室内楽シリーズvol.21「シューベルトの鱗」	5.25	CONTRAST!ヴァイオリン×ハープデュオコンサート
4.6	京都ファインアーツ・プラス 第25回演奏会	5.26	染織光悦会展
4.6 ~ 4.7	【三条ウッドデッキ】ぶんぱくアートマルシェ	5.26	【ろうじ西北スペース】大垣書店トークショー
4.13 5.12	KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2024 クラウディア・ アンドゥハル「ヤノマミ」	5.29	アンサンブル・ボエジア・アモローザ(プリンチピ・ヴェ ネツィアアーニ協力) Piangete occhi 瞳よ涙を流せ ~17世紀イタリアの宗教的な歌~
5.17 ~ 5.19	ふるしき SDGs LIFE 2024		

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
5.30	渡辺剛バイオリンコンサート～僕世界 My World～	8.11	フェリックス室内合奏団 第35回演奏会
5.31	通崎睦美コンサート今、甦る！木琴デイズvol.20 「古今東西 木琴傑作集」	8.12	京都すばる高校吹奏楽部OB主催 すばる MUSEUM コンサート
6.1	おむろんプラス 3rd Concert	8.17	京都市立芸術大学 音楽学部 62期卒業生による ピアノコンサート
6.2	京都フランス歌曲協会設立30周年記念コンサート 第7回六人組とその周辺～コクターを中心に～	8.17 ~ 8.18	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
6.4	ジラルデッリ青木美那 ヴァイオリンリサイタル 2024with 佐藤卓史 裸の魂 A Naked Soul	8.18	J教授と五つ葉の CLOVER CONCERT vol.3 Love Songs～愛を歌う～
6.7	田中純 大西貴浩デュオリサイタル「まだ歌える歌がある」	8.24	第25回 夏のひととき
6.8	宇徳敬子 Concert 2024 輝きましょう、羽ばたきましょう。 Solo debut 30th Anniversary Acoustic Night!!	8.25	京都バツハ合唱団 特別演奏会「バツハ一族の教会音楽」
6.8 ~ 6.9	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	8.29	観光庁 日本的寛容の発見事業
6.9	フラリーパッド ホールライブ in Kyoto 2024	9.1	京都フィルハーモニー室内合奏団第266回定期公演B 室内楽シリーズ vol.24 「北欧の響き」 【台風接近のため中止】
6.14	JAN meets ROSARIODUO CONCERT 2024	9.4	日本国内全47都道府県縦断コンサート特別編「田」の字型 マイハート弦楽四重奏団ひろしま定期演奏会
6.15	佐藤和哉（篠笛）×妹尾武（ピアノ） Winds of Healing ～和洋の名曲を巡る～	9.7	セタフィルチェロ部演奏会
6.16	松峰綾音 月の庭 vol.12 シャンソンと朗読のひととき 『そして 風に訊いた』	9.8	京都クラウドイオモンテヴェルディ合唱団 第74回定期演奏会
6.18	甲斐家婚儀 マリッジプランナー	9.12 ~ 9.13	私たちのSDGs FASHON 2024～繊維製品の循環をめざして～
6.21 ~ 6.23	山水會25周年記念展覧会 お菓子はいつでも楽しいvol.2 (講義室トークショー含む)	9.14	泉会第36回コンサート 歌の花束
6.26	Music Forest 音楽の森 vol.3 エンジョイ!with フルート	9.15	笹川美和 20th Anniversary extra - 長月の残響 -
6.28	京都フィルハーモニー室内合奏団 第264回定期公演B 室内楽シリーズ Vol.22 秀逸のテレマン & 珠玉のバツハ		下津光史 ワンマンライブ重要文化財・京都文化博物館 別館 母の歌と娘のフルートで奏でる Thanks Concert vol.2
6.28 ~ 6.30	【ろうじ東側通路】博和会「文博ろうじの古本まつり」	9.16	建築家のつくる住まい巡り展2024「住宅の現在と未来を考える」
6.29	世界の文化芸術フェスティバル	9.20 ~ 9.23	Music Forest 音楽の森 vol.4JAZZ Sax Concert 「Dante's Night ～My Musical Journey～」
6.30	菊池敏子の素敵な世界 vol.4 大中恩生誕100周年記念	9.27	羊をめぐる音楽会 Vol. VI
7.6	辛島美登里コンサート～時空（とき）のひとひら Vol.2 七夕前夜祭	9.28	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
7.7	60年の感謝を込めて「京都北区民合唱団」 ～歌い継ぐコンサート～	9.28 ~ 9.29	冥丁『古風』 完結編 TOUR～瑠璃～ 京都公演
7.13	能登半島地震災害復興支援チャリティーコンサート in 京都文化博物館	10.4	アンサンブルあおフルートデュオコンサート
7.13	もうひとつのチャリティーコンサート 「満月堂～祇園祭 特別チャリティーライブ」	10.5	mama!milk アコーディオンとコントラバスのデュオオーグ
7.13 ~ 7.15	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	10.6	【ろうじ西北スペース】 大垣書店 トークショー&サイン会
7.15	祝 ユネスコ無形文化遺産登録みんなでのたのしみ風流踊 ワークショップ・ミニ講座あり	10.12 ~ 10.14	京都アート・クラフトマーケット2024
7.16 ~ 7.17	【三条ウッドデッキ】 丹山酒造	10.17	「秋の夜長の月待ちコンサート」 出演:京都市立芸術大学 古典派音楽研究会 (こてけん)
7.19	京都フィルハーモニー室内合奏団第265回定期公演B 室内楽シリーズ vol.23 もうひとつの顔	10.18	リクエスト公演! 祝 ユネスコ無形文化遺産登録 「風流踊と秋の宵」 出演:嵯峨野六斎念仏保存会
7.20	オカリナ・粟辻泰史 ピアノ・粟辻紀子 ふたりのリサイタル2024	10.19	Koty Elegant Hula Studio ミニミニ発表会
7.20 ~ 7.21	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	10.19 ~ 10.20	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
7.21	祇園祭の宵に 第二回ソロ演奏会	10.20	平井真美子「とあるひ 演奏会」
7.26 ~ 7.28	「本山秀毅コーラス・ワークショップ2023」	10.23	閑喜弦介 ギターリサイタル
7.30	Shallaway Youth Choir Free Concert in Kyoto	10.25 ~ 10.27	第5回 きょうと椅子70脚の椅子に触れ、座る3日間
7.31	弦楽四重奏の夕べ ～19世紀ウイーンと祈りの音楽	11.1	アートと音楽の夕べ ～JAZZピアニスト高木里代子を 迎えて～
8.3 ~ 8.4	手漉き和紙ワークショップ 「全国手漉き和紙青年の集い 京都大会」	11.2	SHUUBI 25th Anniversary Show “Autumn night's dream”
8.6	文化庁 文化観光セミナー 2024 一文化観光が目指す未来一	11.3	佐藤響 門下生チェロ発表会2024
8.8	京都女子大学アパレル企画製作部 twinkle* Summer Show	11.4	NEW MOON
8.10	NaKaNaKa × NakaYoshi あべありか+中本陽子 田中涼太+吉澤友里絵 二組のピアノ連弾デュオによるジョイントリサイタル	11.6	9/1延期公演 京都フィルハーモニー室内合奏団 第266回定期公演B 室内楽シリーズ vol.24 「北欧の響き」
		11.8 ~ 11.10	KPA メイキング・ワークショップ 2025
		11.12	「小山薫堂と語る喫茶文化の継承」
		11.15 ~ 11.17	第26回 佐々木真弓・アトリエエンジェル ステンドグラスランプ展

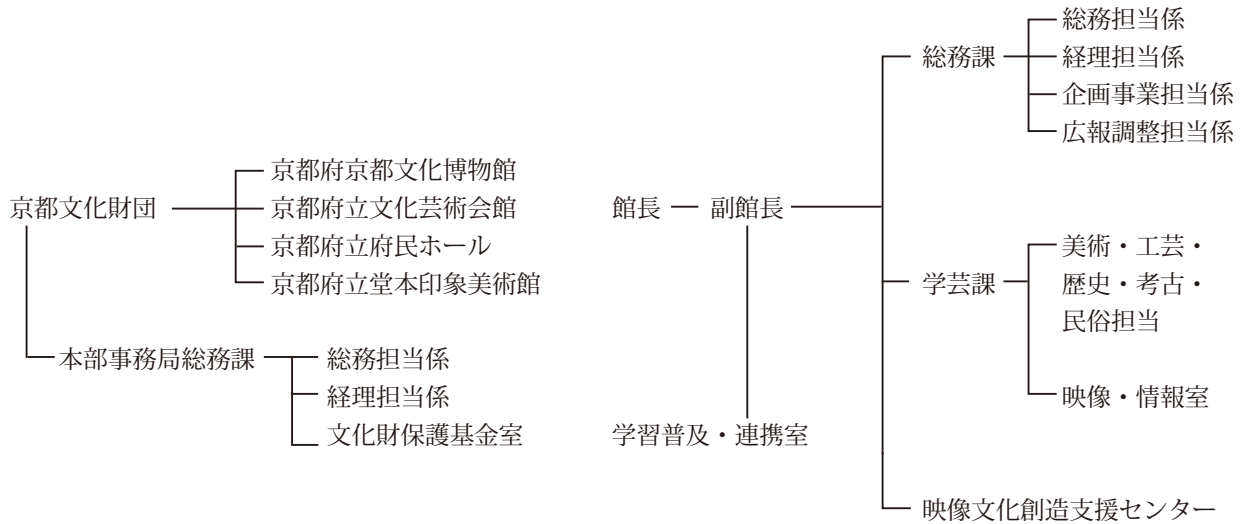
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
11.16 ~ 11.17	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	2.2	「下津光史 ワンマンライブ 需要文化財・京都文化博物館 別館 Vol.2」
11.20	フランツ・シュミット生誕150周年記念コンサート	2.8 ~ 2.9	八仙花いけばな展 in Kyoto
11.22 ~ 11.24	KYOTO今昔きもの大市 【三条ウッドデッキ】 京都楽市	2.8 ~ 2.9	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
11.23	【ろうじ西北スペース】 大垣書店 トークショー&サイン会	2.11	藤澤ノリマサ弾き語りライブ2025〜歌の旅人〜
11.26	第35回 工芸美術 創工会展 授賞式・オープニングレセプション	2.13 ~ 2.16	京都工芸繊維大学卒業・修了研究展 2025大学院建築学専攻
11.28 ~ 11.30	貴久樹 天竺展	2.19	京都市立芸術大学古典派音楽研究会 第8回定期演奏会 「わいら全員集合すんで〜」
11.30 ~ 12.1	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	2.20	Music Forest vol.6 「ピアノの連弾コンサート」
12.1	【中庭ウッドデッキ】 博和会ハンドベル点灯式	2.22	京都フィルハーモニー室内合奏団定期公演B 室内楽シリーズvol.25第269回定期公演B「小さな室内音楽」
12.1 ~ 12.3	貴久樹 天竺展	2.23	JM CONCERT Produced by Jun Tanaka
12.5	Amo Italia! 2024イタリアの名バリトン マエストロ ジョルジョ・ロールミと共に	2.24	Early Spring Concert
12.7	西垣正信 フランツ・シューベルト 「冬の旅」	2.26	京都文化博物館特別展「カナレットとヴェネツィアの輝き」 開催記念スペシャルコンサート 「ヴィヴァルディとヴェネツィアの輝き」
12.7 ~ 12.15	【ろうじ西北スペース】 ミホプロジェクト womansartisan	2.27	AFK関連アトラウンジ
12.8	アンサンブル・カノ ルネサンスの響き The 8th Concert	3.1	南佳孝 Soloism 2024 京都公演
12.10	中村天平 ピアノリサイタル 京都公演	3.2	PERSONZ 「QUEST FOR TREASURE LAND」 neo acoustic tour 2025
12.11	北野幼稚園 歌とリズムの音楽会	3.5	Beyond Borders 創造の森へ 「アート×インテリア×共創の可能性」 やまなみ工房 山下完和、NOTA & design 加藤駿介、 カリモク家具 加藤洋によるトークイベント
12.12	コーラス隊ブレス Christmas Live 2024	3.8	冥丁『室礼』TOUR 京都公演
12.14 ~ 12.15	THE GIFT BOX 2024	3.8 ~ 3.9	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ
12.17 ~ 3.23	【ろうじ西北スペース】 博和会「宇治観光土産品組合@ぶんぱく」	3.9	Marihiko Hara Piano Concert 2025
12.21 ~ 12.22	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	3.11	Trio Noir Recital vol.1 『フォーレ』
12.21 ~ 12.27	Kyoto Art for Tomorrow 2025 - 京都府新鋭選抜展 - 特別出展 高瀬菜菜	3.12	京都フェアウェルコンサート2025〜飛翔〜
1.4 ~ 1.13	Kyoto Art for Tomorrow 2025 - 京都府新鋭選抜展 - 特別出展 高瀬菜菜	3.14 ~ 3.16	昭和100年書翰絵葉書展
1.17 ~ 1.18	京都・西安友好都市提携50周年記念 西安デイ 〜中国の春節を体感しよう〜	3.21 ~ 3.23	【別館ホール】 京都今昔きもの大市 【三条ウッドデッキ】 京都楽市
1.18 ~ 1.19	【三条ウッドデッキ】 ぶんぱくアートマルシェ	3.26	2025ノルウェーのミュージシャンを迎えて
1.19	西村由紀江新春コンサート2025 ~ゆきえさんとお正月~	3.26 ~ 3.30	【ろうじ西北スペース】 博和会 京都大学折り紙サークル「いまじろ〜」展
1.21	広田勇樹・門田和峻 duo concert 京都公演	3.28 ~ 3.30	KYOTO 国際アーティストBANK2025
1.25	立ち上がれ、光を放て。 -17世紀ドレスデン 宗教と音楽の交錯-		
1.26	日食なつこ「文博モダニズム」		
2.1	能登地震・水害被災地活動チャリティーコンサート「絆音 (はんおん)」		
2.2	ラッキーオールドサン 単独公演「白い馬頭琴」		

入場者数119,947名

VII 管理・運営

VII - 1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係および経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

2025年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	西脇 隆俊 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	高階絵里加	京都大学大学院地球環境学学術教授、 京都大学人文科学研究所教授
理事長	山田 啓二	京都文化博物館館長、前京都府知事		並木 誠士	京都工芸繊維大学特定教授、美術工芸資料館館長
常務理事	金谷 宗子	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長		深尾 憲一	弁護士
理事	植村 幸弘	京都中央信用金庫専務理事	監事	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
	奥野美奈子	株式会社京都銀行常務取締役		光田 周史	公認会計士
	金田 章裕	京都府立京都学・歴史館館長、京都府立大学 法人理事長		中村 健児	一般社団法人京都銀行協会専務理事

【京都文化財団評議員名簿】

2025年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	山極 壽一	総合地球環境学研究所所長	評議員	潮江 宏三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授
評議員	池坊 雅史	華道家元池坊総務所事務総長		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	上原 雅明	学校法人小野幼稚園理事長・園長		中西たえ子	株式会社鼓月取締役会長
	内田 奈織	ハーブ奏者		中村 宗哲	千家十職塗師当代
	大西 祐資	京都新聞社代表取締役社長・主筆		名和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長
	杭迫 柏樹	書家		野崎 貴典	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー
	金剛 永謹	能楽金剛流宗家		古川 博規	京都府副知事
	坂口 博翁	僧侶・一般財団法人京都仏教会常務理事		森田りえ子	日本画家、京都市立芸術大学客員教授
	佐々木正子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長		吉岡恵美子	京都精華大学芸術学部教授
	佐野真由子	京都大学大学院教育学研究科教授		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2025年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担 当 業 務
	名誉館長	荒巻 禎一	
	館長	山田 啓二	館総括
	副館長	金谷 宗子	館業務総括
総務課	総務課長	濱田 裕美子	課総括
	総務課参事（文化財保護基金担当課長兼務）総務担当係長事務取扱	佐藤 幸央	総務担当業務
	課長補佐兼経理担当係長	西村 尚久	経理担当業務
	課長補佐兼企画事業担当係長・文化財保護基金担当係長	海老名 和孝	企画事業担当業務
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務
	担当係長	新谷 婦美子	企画事業担当業務
	広報調整担当係長	竹内 文香	広報調整担当業務
	主事	岡田 友美	総務担当業務
	主事	武田 依子	企画事業担当業務
	主事	森 麻紀子	広報調整担当業務
	嘱託職員	菅原 有香	広報調整担当業務
	嘱託職員	幸田 光人	企画事業担当業務
	嘱託職員	黒田 彰吾	企画事業担当業務
学芸課	課長	洲鎌 佐智子	課総括
	映像文化創造支援センター長、映像・情報室長事務取扱	森脇 清隆	映像・情報
	課長補佐 主任学芸員	橋本 章	民俗
	調査役	畑 智子	工芸
	主任学芸員	植田 彩芳子	絵画
	主任学芸員	西山 剛	歴史・文献
	学芸員	林 智子	染織
	学芸員	大矢 敦子	映像・情報
	学芸員	清水 智世	絵画
	学芸員	有賀 茜	絵画
	学芸員	佐藤 稜介	歴史・文献
	学芸員	上村 茉莉絵	デジタルアーカイブ
	学芸員	山崎 頼人	歴史・考古

VII-2 施設

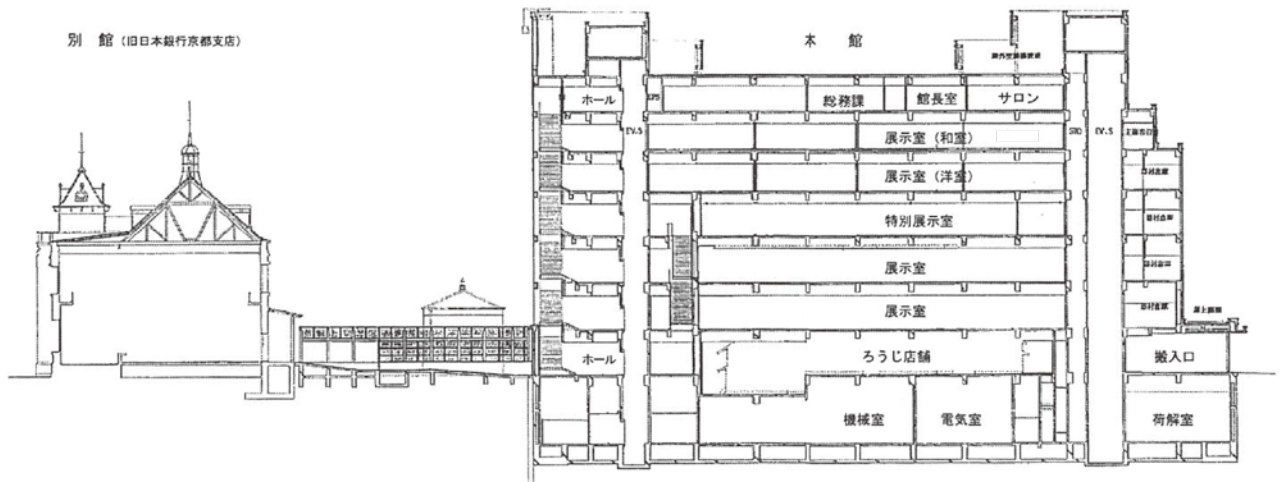
1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所
 施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月
 (リニューアル工事実施)
 敷地面積：4,830.0㎡ (別館を含む)
 建築面積：3,646.5㎡ (別館を含む)
 延床面積：15,854.7㎡ (別館を含む)
 本館床面積：13,591.8㎡
 (内訳) 地階 2,242.4㎡ / 1階 2,251.7㎡
 2階 1,892.8㎡ / 3階 1,908.7㎡
 4階 1,442.1㎡ / 5階 1,442.1㎡
 6階 1,218.2㎡ / 7階 1,010.4㎡
 塔屋 182.8㎡
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

【京都文化博物館東側立面図】



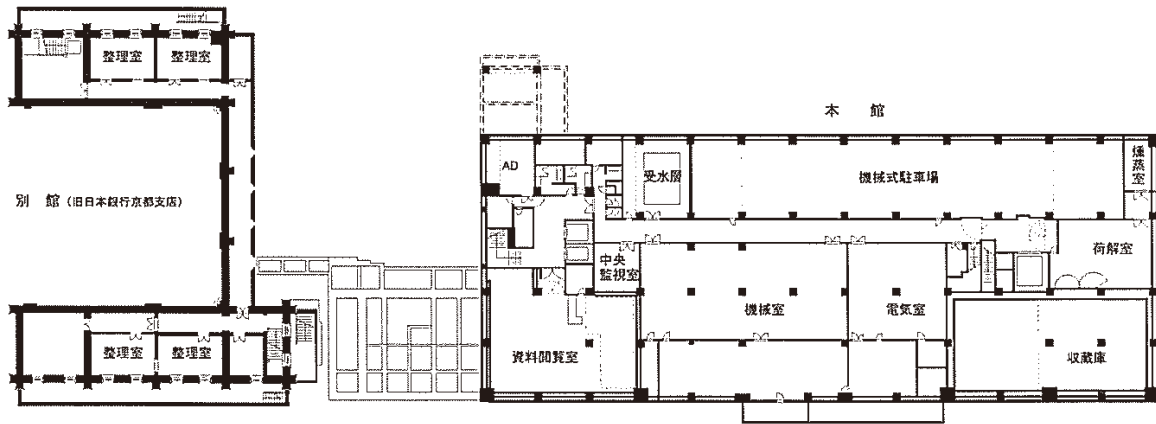
【京都文化博物館断面図】



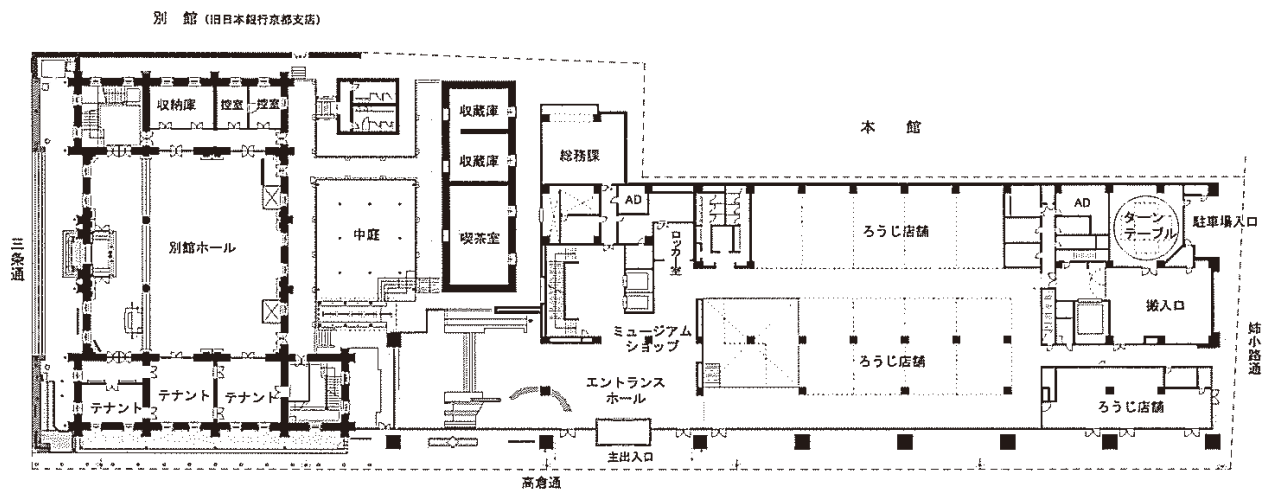
2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地
 設計：辰野金吾・長野宇平治
 施工期間：1903 (明治36) 年9月
 ～1906 (明治39) 年6月
 延床面積：2,249.3㎡
 別館構造：建築面積……819.7㎡
 煉瓦造、2階建一部地下1階
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺
 指定：重要文化財
 指定名称 旧日本銀行京都支店
 指定年月日 1969年3月12日
 指定書番号 建第1,708号

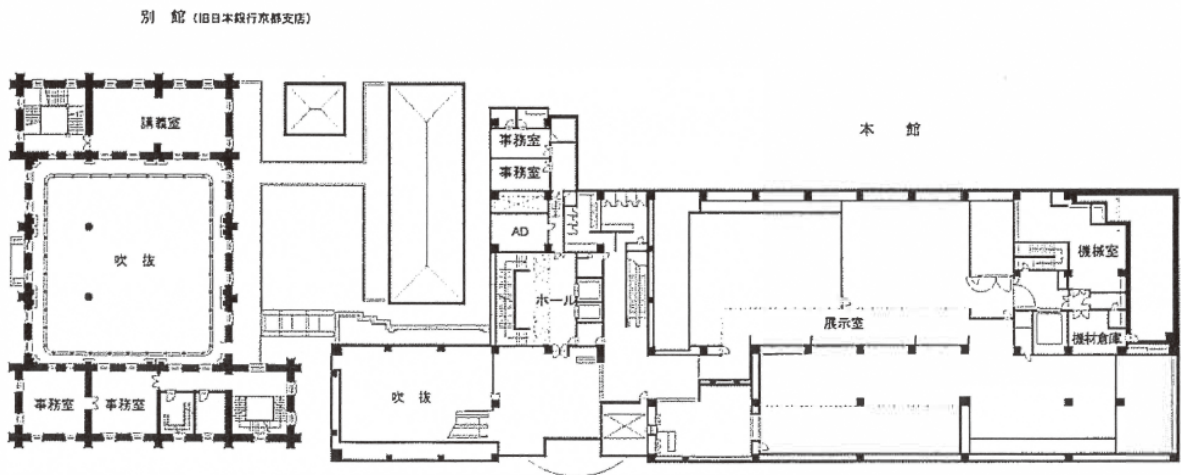
【京都文化博物館 地下1階平面図】



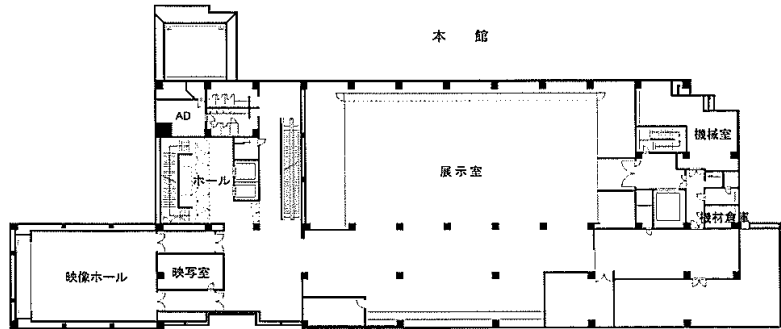
【京都文化博物館 1階平面図】



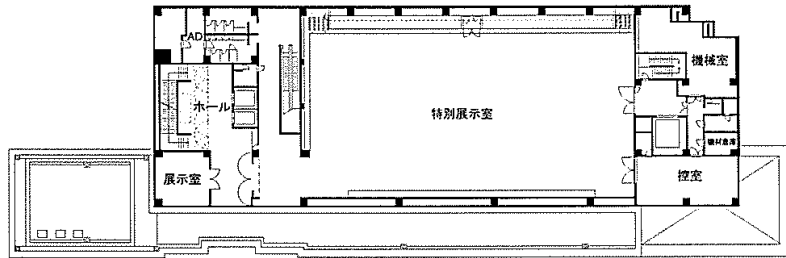
【京都文化博物館 2階平面図】



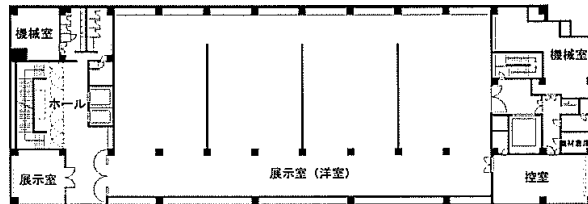
【京都文化博物館 3階平面図】



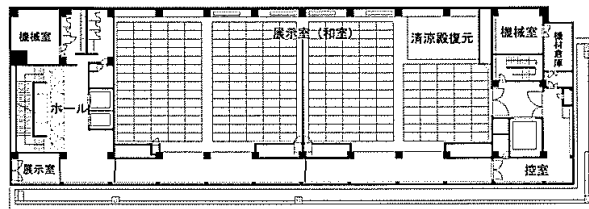
【京都文化博物館 4階平面図】



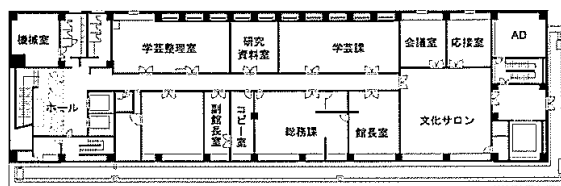
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII-3 館内店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の表構えを復元したものである。高倉通側には主に飲食店、西側の路地では物販店を営業している。別館には、明治の洋風建築をそのまま活用した物販店や、旧金庫室を改造した喫茶店があり、京町家の建築

美や近代日本の歴史に触れながら、営業している。また、店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は90,071名であった。

1) ろうじ店舗一覧

- ◇和紙と和紙小物の店—染紙館
- ◇京めし処「しげちゃん」(2024年11月オープン)
- ◇「あめとかふえ とにまる」
- ◇鮎しんIN THE MUSEUM (2024年11月オープン)
- ◇京・嵐山上流の蔵 京丹山
- ◇Ququl 京都文化博物館ミュージアムショップ

◆店舗スペース 催事等の活用実績

博和会 「宇治観光土産品組合@ぶんぱく」	2024年4月1日～4月14日 (西北)
ボランティア研修	2024年4月25日、4月27日 (西北)
大垣書店『キミは文学を知らない。』山本英子さんトークイベント	2024年5月26日 (西北)
Kyoto Art for Tomorrow 2025—京都府新鋭選抜展—選考会	2024年6月21日
博和会 「文博ろうじの古本まつり」	2024年6月28日～6月30日 (東通路)
団体鑑賞「日本の巨大ロボット群像」展示解説	2024年7月11日
子ども映画祭 利用	2024年8月2日～4日
大垣書店『自分とか、ないから。』10万部突破記念トークショー&サイン会	2024年10月6日 (西北)
大垣書店『魔性の女剣士』発表記念 工藤堅太郎先生トークショー&サイン会	2024年11月23日 (西北)
一般社団法人culture and peace「womensartisan」	2024年12月7日～12月15日 (西北)
博和会 「宇治観光土産品組合@ぶんぱく」	2024年12月17日～2025年3月23日 (西北)
博和会 京都大学折り紙サークル「いまじろ～」展	2025年3月26日～3月30日 (西北)

2) 別館店舗一覧

- ◇前田珈琲 文博店
- ◇Contemporary Art JARFO 京・文博
- ◇和雑貨—くろちく 文博店
- ◇かばん onomasato

3) 博和会・ろうじ店舗行事

【博和会行事】

区 分	名 称	開催日/期間	参加者数
博和会イベント	宇治観光土産品組合@ぶんぱく	2024年4月1日～4月14日	378名
	文博ろうじの古本まつり	2024年6月28日～6月30日	2,000名
	「ハンドベルミニコンサート&イルミネーション点灯式	2024年12月1日	80名
	宇治観光土産品組合@ぶんぱく	2024年12月17日～2025年3月23日	2,192名
	京都大学折り紙サークル「いまじろ～」展	2025年3月26日～2025年3月30日	1,701名

VIII 2024(令和6)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアターの略

月日	事項	
2024年4月2日	常設上映「【生誕100年記念】映画女優淡島千景特集」	～5月9日/FT
4月13日	総合展「三國幽眠－勤王漢学者と京都」	～6月2日/2階
4月27日	特別展「松尾大社展 みやこの西の守護神」	～6月23日/3・4階
5月10日	常設上映「映画に見る平安時代」	～5月31日/FT
6月1日	「feature in sound 大野松雄の仕事」	～6月2日/FT
6月4日	常設上映「社会派サスペンス映画劇場」	～6月30日/FT
6月5日	総合展「祇園祭－山鉾巡行の歴史と文化－」	～8月4日/2階
6月8日	総合展「天平の都 恭仁宮－最新の発掘調査成果から」	～7月28日/2階
7月2日	常設上映「熱狂！チャンバラ・スターの時代 甦る伝説の六剣聖」	～7月31日/FT
7月6日	特別展「日本の巨大ロボット群像－鉄人28号、ガンダム、ロボットアニメの浪漫－」	～9月1日/3・4階
7月16日	常設上映「祇園祭記念特別上映」	～7月17日、7月24日/FT
8月2日	「第30回京都国際子ども映画祭」	～8月4日/FT
8月3日	総合展「福井勇－あいまいな輪郭」	～9月23日/2階
8月3日	総合展「足利将軍、京都に住まう。」	～9月23日/2階
8月6日	常設上映「特撮魂！映画職人の夢と汗」	～9月5日/FT
8月10日	総合展「京都府コレクションにみる刺繍の世界」	～10月6日/2階
8月16日	【特別展「日本の巨大ロボット群像」関連企画】「ロボットアニメの熱さと絆－ガールパワーと熱血ロボット－」	～8月17日/FT
9月6日	「日本映像学会関西支部第44回夏期映画ゼミナール特集 日本の女性映画人－結髪、美粧、記録、編集、美術、脚本、監督－」	～9月8日/FT
9月10日	常設上映「【没後20年】水上勉の世界を描く」	～9月23日/FT
9月14日	特別展「生誕140年記念 石崎光瑠」	～11月10日/3・4階
9月25日	常設上映「映画撮影監督吉田貞次を偲ぶ～七回忌追悼上映」	～10月6日/FT
9月28日	総合展「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝14－御堂関白記と源氏物語」	～11月24日/2階
9月28日	総合展「池大雅展 山水嶺爽」	～11月24日/2階
10月8日	常設上映「生誕100年 高峰秀子 銀幕に生きる」	～11月8日/FT
10月12日	総合展「京都府内の学校所在資料展3」	～12月1日/2階
11月9日	「びあフィルムフェスティバル in 京都2024」	～11月17日/FT
11月19日	常設上映「コメディアンに至芸～喜劇映画特集」	～12月1日/FT
11月23日	特別展「日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展」	～2月2日/3・4階
11月23日	「【京都ヒストリカ国際映画祭プレ企画】平安時代とアニメーションへ時代を越えるミレニアムアニメーション～」	～11月23日/FT
11月30日	総合展「鶴澤派探求－朝廷御用絵師の要－」	～1月26日/2階
12月3日	「第16回 京都ヒストリカ国際映画祭」	～12月8日/FT
12月10日	常設上映「悩み躰く偉人達」	～12月27日/FT
12月13日	「京まちなか映画祭 in 京都文化博物館」	～12月15日/FT
12月14日	総合展「うつす美－江戸時代の絵画学習」	～2月2日/2階
12月21日	「Kyoto Art for Tomorrow 2025－京都府新鋭選抜展－」	～1月13日/5階・別館
2025年1月4日	常設上映「映画と小説の密な関係－文芸映画特集」	～2月24日/FT
2月1日	総合展「古写真と絵葉書で巡る京の名所」	～2月14日/2階
2月6日	「第27回京都国際学生映画祭」	～2月9日/FT
2月14日	「MPTE AWARDS 2023 第77回映像技術賞「映像技術賞作品を見る会&トークイベント」」	～2月14日/FT
2月15日	特別展「カナレットとヴェネツィアの輝き」	～4月13日/3・4階
2月23日	「京都映画賞授賞式と受賞作品上映」	～2月23日/FT
2月26日	「メキシコ映画の大回顧」	～3月9日/FT
3月11日	常設上映「映画俳優が監督になる時－島耕二、山村聡、佐分利信、そして田中絹代」	～3月19日/FT
3月15日	「カナレットとヴェネツィアの輝き」展関連映画上映	～3月15日/FT
3月20日	〈京の歴史〉ゾーン展示リニューアル	2階
3月20日	総合展「古写真と絵葉書で巡る京の名所」	～4月13日/2階
3月20日	常設上映「【京の歴史展示エリア－新記念】日本のハリウッド・京都」撮影所特集」	～4月29日/FT
3月22日	キヤウトコタン－京都でふれるアイヌ文化記念上映	～3月22日/FT

京都文化博物館 2024(令和6)年度年報

発行日 2025年9月30日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL : 075-222-0888
FAX : 075-222-0889
印刷 株式会社 ITP